

「子どもの事故防止にむけた消費者啓発事業」
アンケート調査結果報告書

平成 29 年 3 月
泉 佐 野 市

目次

I	調査の概要.....	1
1-1	調査目的.....	1
1-2	調査の概要.....	1
1-3	報告書の見方.....	2
II	保護者アンケート調査結果.....	3
2-1	この調査票を持ちかえられたお子様についておうかがいします.....	3
2-2	家庭内での事故についておうかがいします.....	6
2-3	屋外での事故についておうかがいします.....	13
2-4	幼稚園・小学校での事故についておうかがいします.....	24
2-5	地域での事故についておうかがいします.....	35
III	地域アンケート調査結果.....	43
3-1	地域で発生した事故について.....	43
3-2	子どもの事故防止のための取り組みについて.....	44

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、市が実施する「子どもの事故防止にむけた消費者啓発事業」の一環として、普段の生活の中でお子様が「思わぬ事故」に巻き込まれた、あるいは巻き込まれそうになった体験や、普段からお子様の事故に関してどのような注意を払われているかをおうかがいし、市民の皆様が安心して泉佐野市で暮らすことができるよう役立てることを目的として実施しました。

1-2 調査の概要

①保護者アンケート調査

項目	内容
調査対象者	泉佐野市に住む、市立幼稚園児および 小学校1・2年生の子どもの保護者
配布数	1,783人
抽出方法	全数調査
調査方法	幼稚園・小学校を通じた配布・回収
回収数	1,536人
回収率	86.1%
調査期間	平成29年1月10日～平成29年1月20日

②地域アンケート調査

項目	内容
調査対象者	市内各小学校区担当の主任児童委員
配布数	12人
抽出方法	全数調査※
調査方法	直接配布・直接回収
回収数	12人
回収率	100.0%
調査期間	平成28年12月9日～平成29年1月13日

※欠員となっている小学校区を除く

1-3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 報告書内では単数回答をSA(Single Answer)、複数回答をMA(Multi Answer)と記載しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 報告書内に掲載しているクロス集計表については、以下の規則に基づいて表示しています。
 - ・ 回答割合が最も高い選択肢を「黒背景・白文字」、次に高い選択肢を「濃灰背景・白文字」、三番目に高い項目を「薄灰背景」で表示しています。
 - ・ 母数が少ない項目については、回答割合が最も高い選択肢を「薄灰背景」で表示しています。

◆クロス集計表表示例

上段:度数 下段:%	合計	転落する	転倒する	おぼれる	やけどする	飲み込む	ぶつかる・ 当る	さわる・接 触する
合計	576 100	57 9.9	269 46.7	9 1.6	7 1.2	1 0.2	195 33.9	56 9.7
のぞみ幼稚 園	16 100	1 6.3	6 37.5	- -	- -	- -	6 37.5	2 12.5
はるか幼稚 園	17 100	1 5.9	4 23.5	1 5.9	- -	- -	5 29.4	- -
さくら幼稚 園	30 100	4 13.3	10 33.3	2 6.7	- -	- -	10 33.3	5 16.7

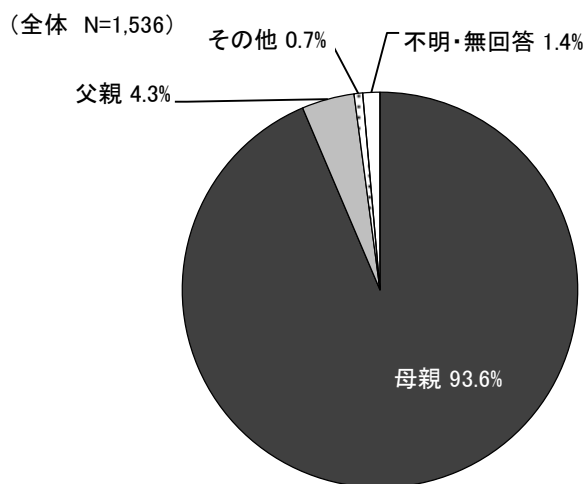
※母数が20以下の幼稚園については、割合が最も高い項目のみ「薄灰背景」で表示しています。

Ⅱ 保護者アンケート調査結果

2-1 この調査票を持ちかえられたお子様についておうかがいします

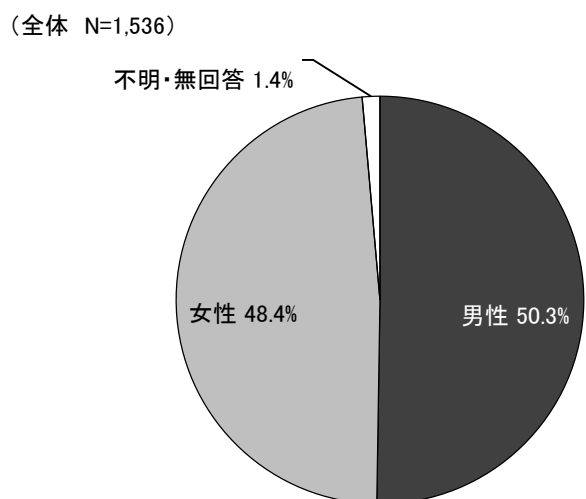
問1 この調査票にご回答いただくのはどなたですか。お子様からみた関係でお答えください。（1つに○）

本調査の回答者についてみると、母親が93.6%、父親が4.3%となっています。



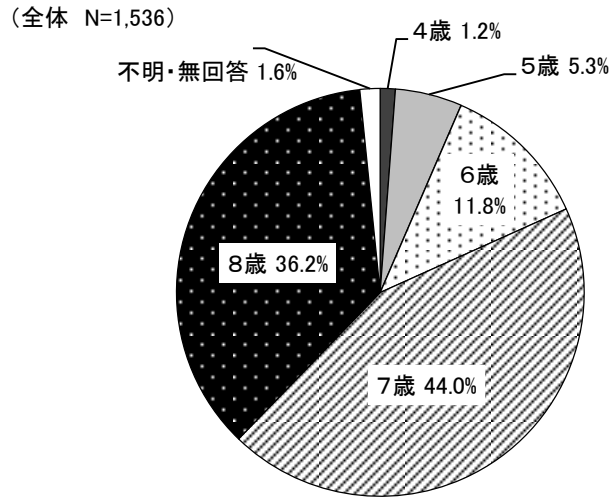
問2 お子様の性別について教えてください。（1つに○）

子どもの性別についてみると、男性が50.3%、女性が48.4%となっています。



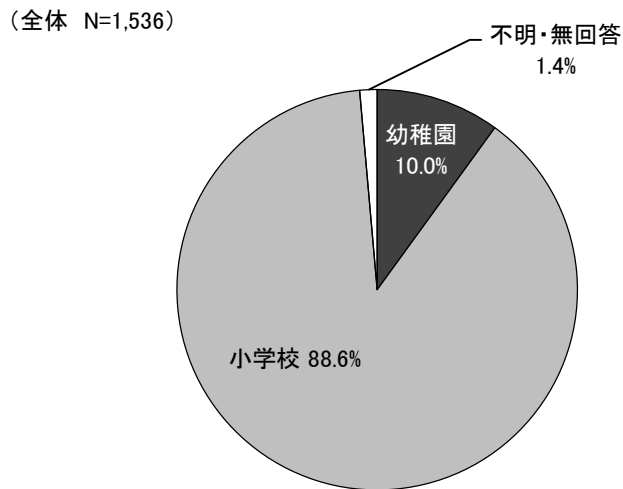
問3 お子様の年齢について教えてください。(1つに○)

子どもの年齢についてみると、7歳が44.0%と最も高く、次いで8歳が36.2%となっています。



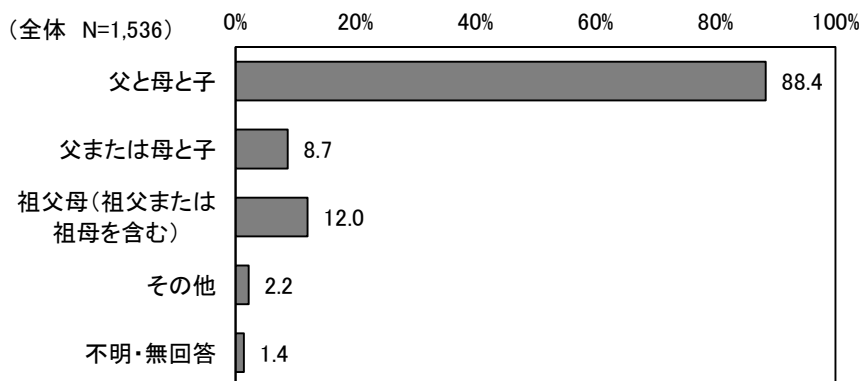
問4 あなたのお子様は、次のうちのどの教育施設に通われていますか。(1つに○)

通っている教育施設についてみると、小学校が88.6%、幼稚園が10.0%となっています。



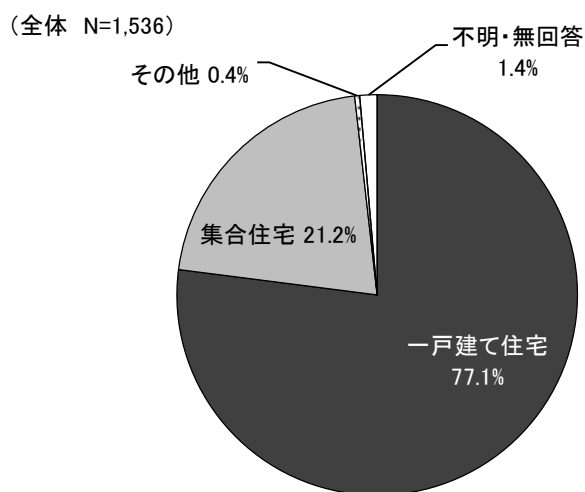
問5 ご家庭の家族構成について教えてください。（あてはまるもの全てに○）

家族構成についてみると、「父と母と子」が 88.4%と最も高く、次いで「祖父母（祖父または祖母を含む）」が 12.0%となっています。



問6 現在のお住まいの形態について教えてください。（1つに○）

現在の住まいの形態についてみると、一戸建て住宅が 77.1%、集合住宅が 21.2%となっています。



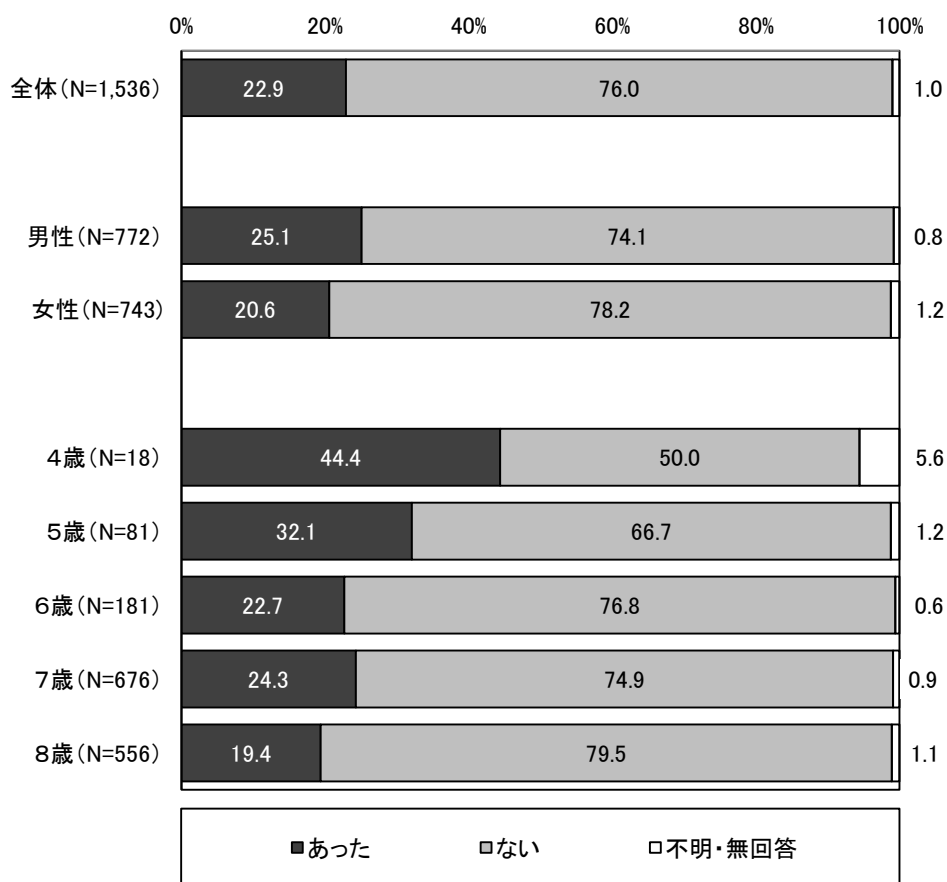
2-2 家庭内での事故についておうかがいします

**問7 最近一年以内に、家庭内での事故あるいはヒヤリ・ハットはありましたか。
(1つに○)**

家庭内での事故あるいはヒヤリ・ハットの有無についてみると、「あった」が22.9%、「ない」が76.0%となっています。

性別でみると、男性において事故あるいはヒヤリ・ハットが「あった」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて事故あるいはヒヤリ・ハットが「あった」と回答する割合が減少しており、4歳から8歳にかけて25ポイント減少しています。

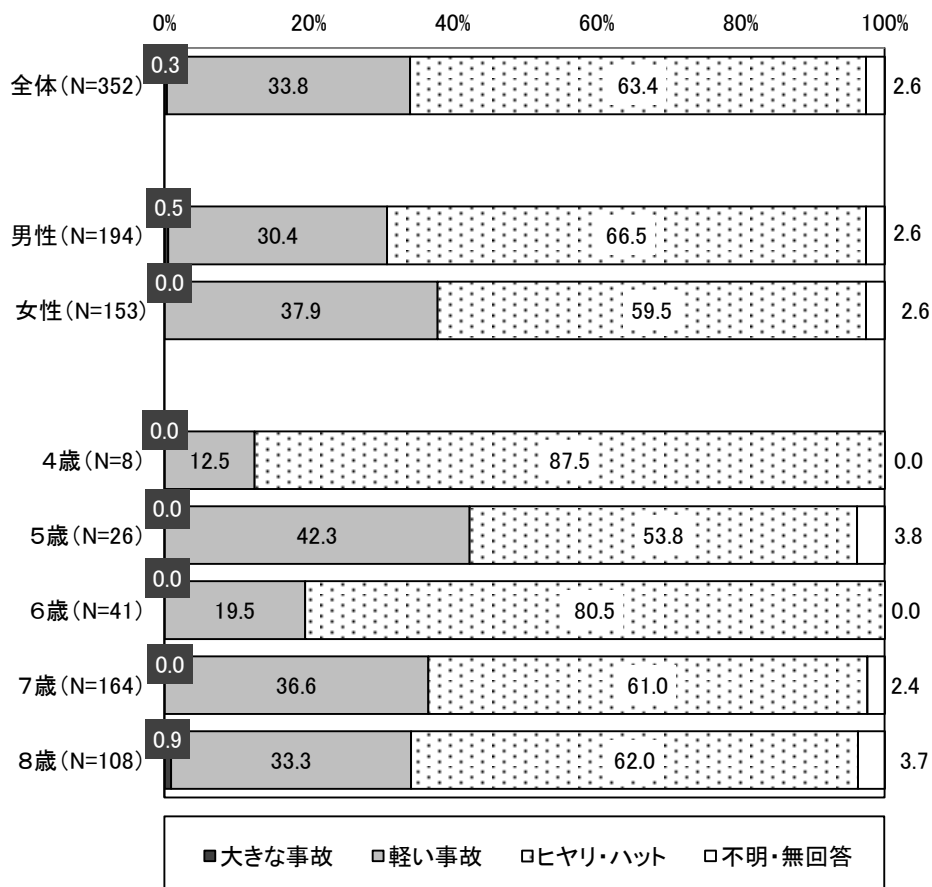


問8 お子様が体験されたのは次のうちのどれですか。(1つに○)

家庭内での体験の内訳についてみると、「大きな事故」が0.3%、「軽い事故」が33.8%、「ヒヤリ・ハット」が63.4%となっています。

性別でみると、女性において「軽い事故」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、「軽い事故」は5歳の子どもにおいて比較的高くなっています。また、「大きな事故」は8歳の子どもにおいて発生しています。



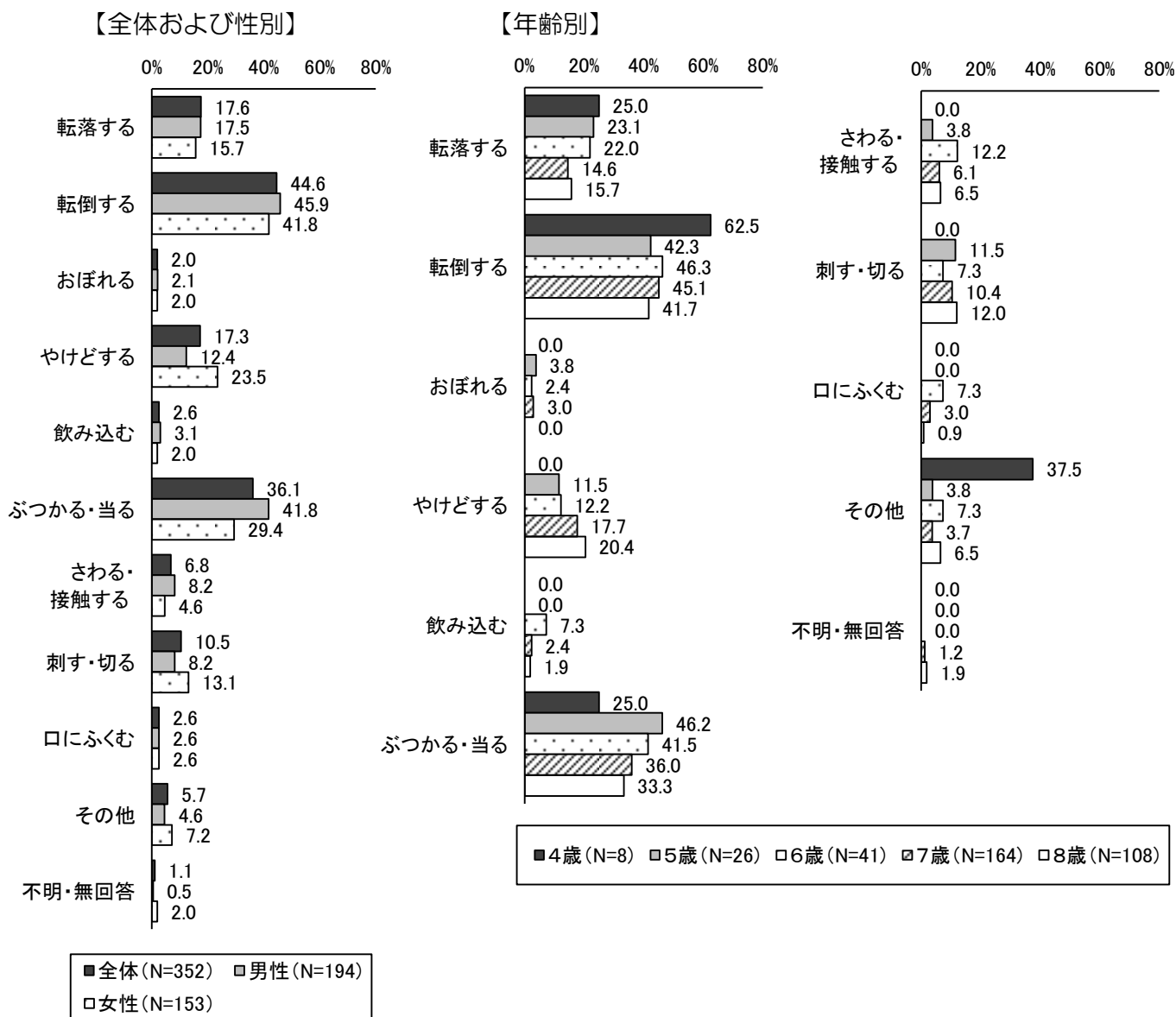
問9 事故あるいはヒヤリ・ハットのきっかけを教えてください。

(あてはまるもの全てに○)

家庭内での事故あるいはヒヤリ・ハットのきっかけについてみると、「転倒する」が44.6%と最も高く、次いで「ぶつかる・当る」が36.1%、「転落する」が17.6%となっています。

性別でみると、男性では「転倒する」「ぶつかる・当る」の割合が比較的高くなっており、女性では「やけどする」「刺す・切る」の割合が比較的高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢において「転倒する」が最も高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「やけどする」の割合が増加しています。



問 10 事故あるいはヒヤリ・ハットが発生した場所を教えてください。

(あてはまるもの全てに○)

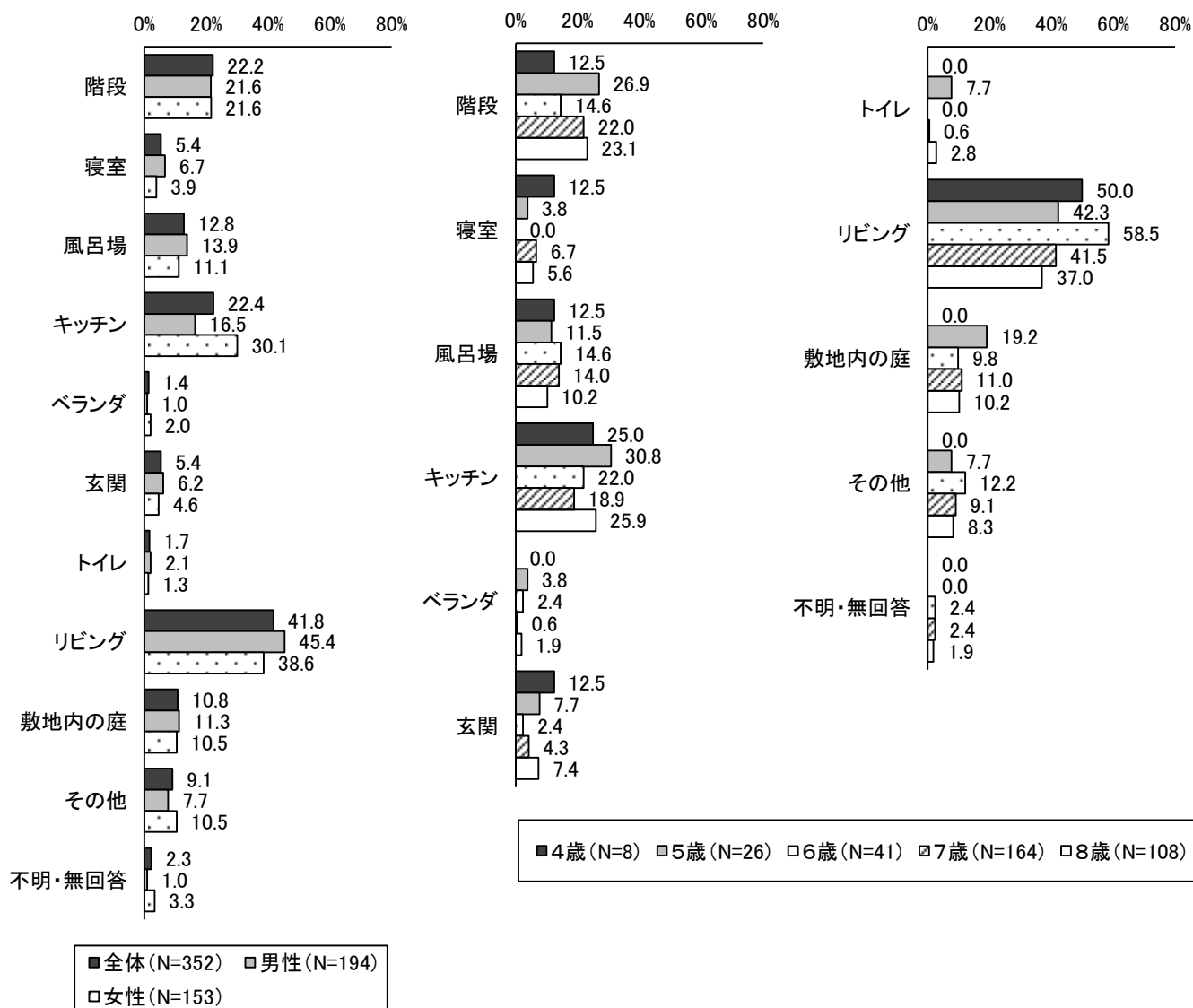
家庭内での事故あるいはヒヤリ・ハットが発生した場所についてみると、「リビング」が41.8%と最も高く、次いで「キッチン」が22.4%、「階段」が22.2%となっています。

性別でみると、男性では「リビング」、女性では「キッチン」の割合が比較的高くなっています。

年齢別でみると、年齢があがるにつれて「階段」の割合が若干増加しています。

【全体および性別】

【年齢別】



問 11 事故あるいはヒヤリ・ハットの原因について教えてください。

(あてはまるもの全てに○)

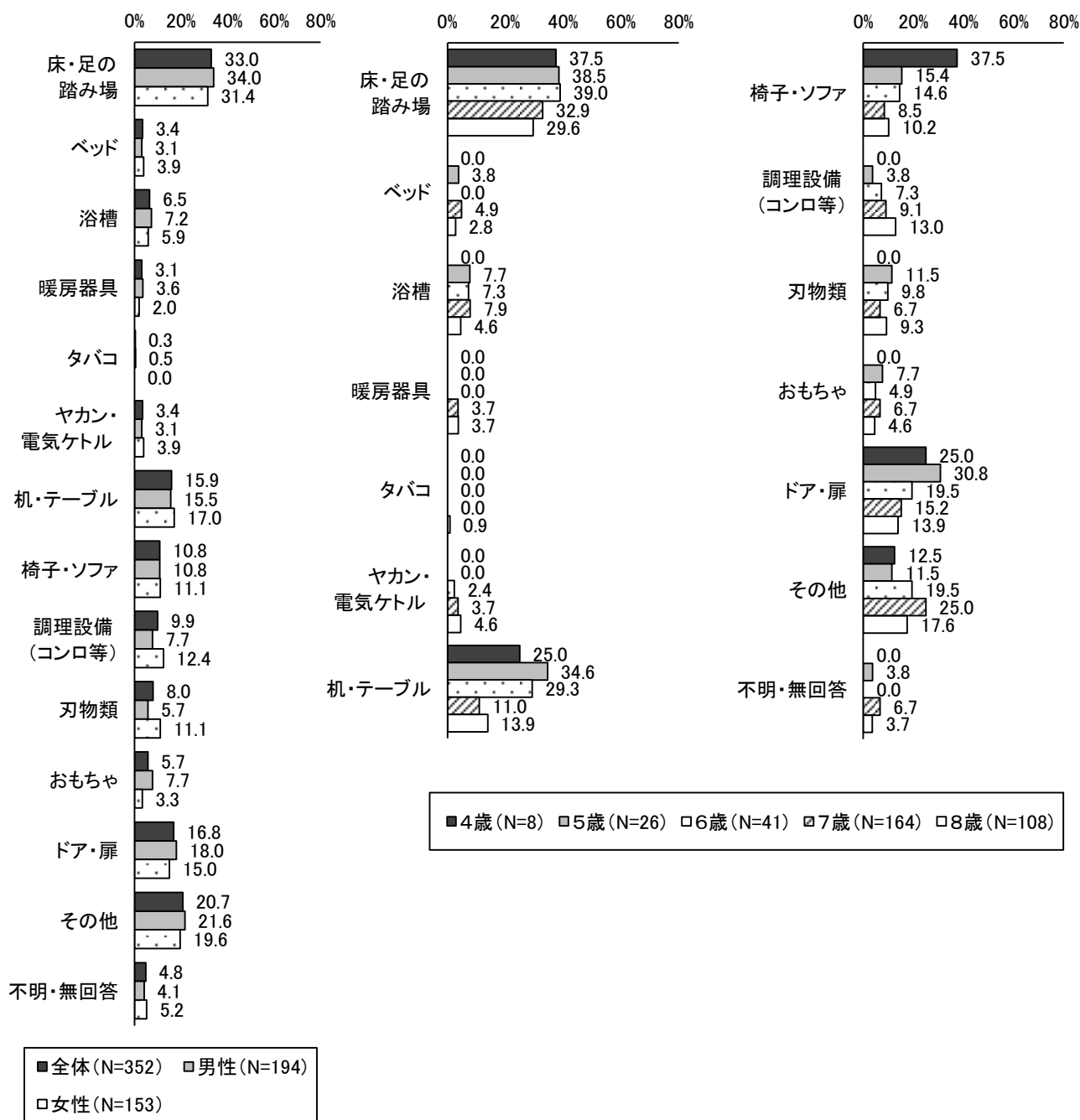
家庭内での事故あるいはヒヤリ・ハットの原因についてみると、「床・足の踏み場」が33.0%と最も高く、次いで「ドア・扉」が16.8%、「机・テーブル」が15.9%となっています。

性別でみると、女性において「調理設備（コンロ等）」「刃物類」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「床・足の踏み場」「ドア・扉」の割合が減少している一方で、「ヤカン・電気ケトル」「調理設備（コンロ等）」の割合は増加しています。

【全体および性別】

【年齢別】



問 12 事故の結果、お子様にはどのような症状があらわれましたか。

(あてはまるもの全てに○)

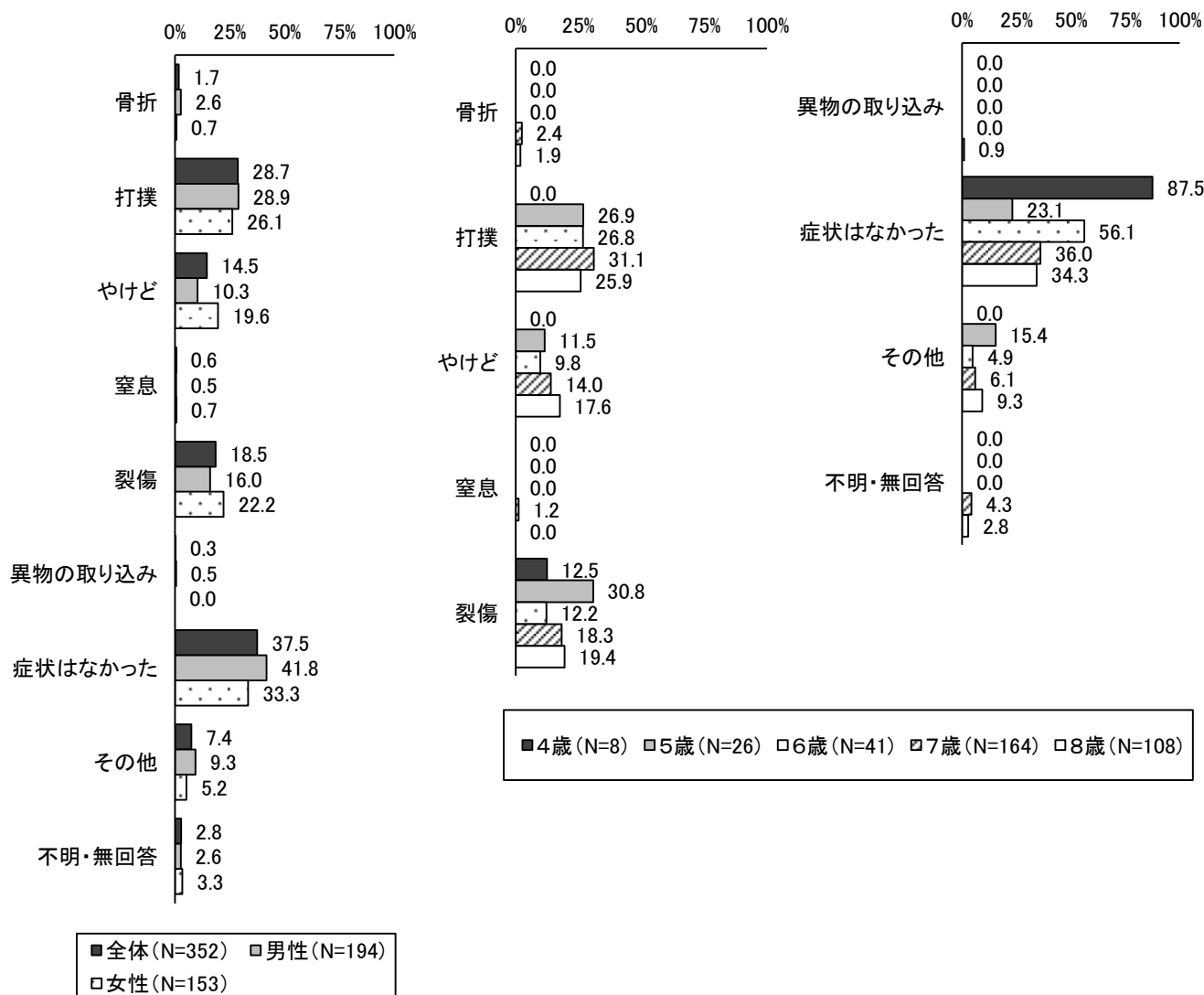
家庭内での事故の結果あらわれた症状についてみると、「打撲」が 28.7%と最も高く、次いで「裂傷」が 18.5%、「やけど」が 14.5%となっています。

性別でみると、女性において「やけど」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「やけど」の割合が若干増加しています。

【全体および性別】

【年齢別】



問 13 事故あるいはヒヤリ・ハットの内容について、具体的に教えてください。

【主な事故・ヒヤリ・ハットの内容】

発生した時間	内容
料理の手伝いをしている時	料理の手伝いで包丁を使っている時に、指を切った
	料理の手伝いをしている時に腕がフライパンにあたり、やけどした
	ガスコンロを使用している時、火が付いていないままガスをつけっぱなしにしていた
	炊飯器の湯気でやけどした
食事をしている時	飴を飲み込んでのどに詰まらせた
	肉がかみきれずにそのまま飲み込もうとし、のどに詰まらせそうになった
	食事を口いっぱいにつめこみ、のどを詰まらせた
	箸をくわえたまま歩いていた
入浴している時	浴槽で居眠りをしてしまい、おぼれそうになった
	浴槽内で遊んでいる時に、足を滑らせおぼれそうになった
	風呂場で足を滑らせ、ケガをした
外出直前	自宅を出る直前、歩道を通行していた自転車に気づかずぶつかりそうになった
	家を出てすぐ車道を渡ろうとし、車にぶつかりそうになった
その他	歯みがきをしている最中に転倒した
	タオルを取ろうとしてタンスにのぼり、タンスごと転倒した
	電気ストーブに髪を近づけたため、燃えた
	お菓子やおもちゃを鼻に詰め込んでいた
	熱湯の入ったカップラーメンをひっくり返してしまい、やけどを負った
	ドライヤーで髪を乾かしていたら、髪が巻き込まれた

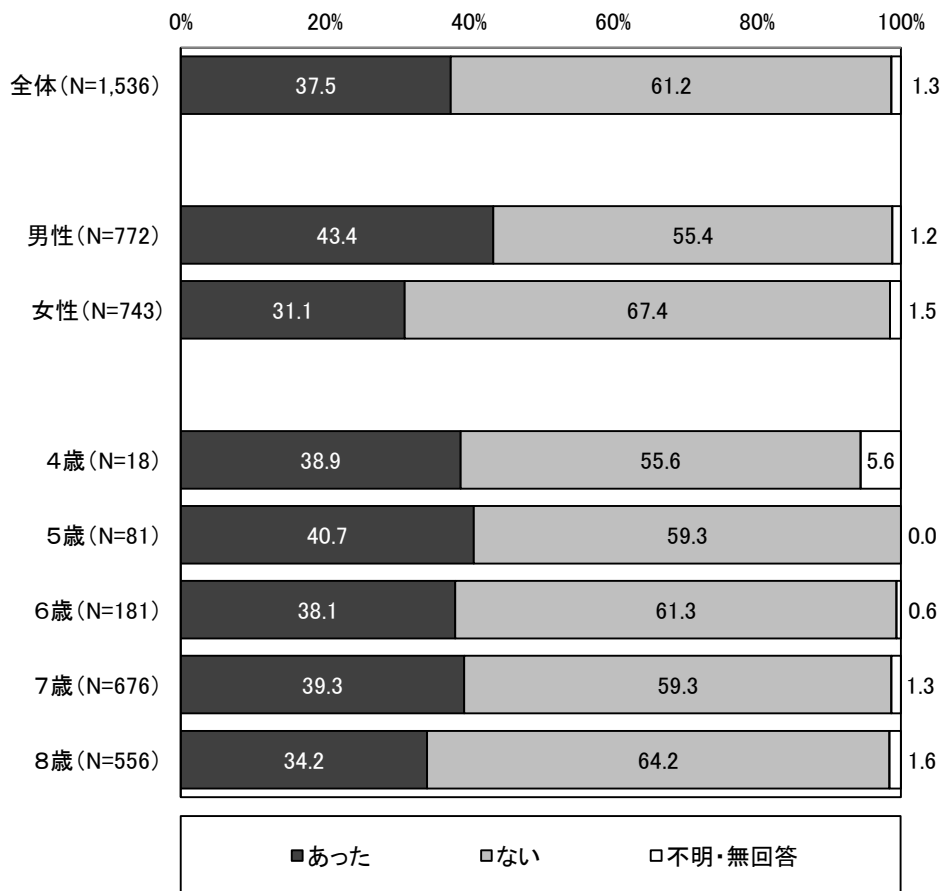
2-3 屋外での事故についておうかがいします

**問 14 最近一年以内に、屋外での事故あるいはヒヤリ・ハットはありましたか。
(1つに○)**

屋外での事故あるいはヒヤリ・ハットの有無についてみると、「あった」が37.5%、「ない」が61.2%となっています。

性別でみると、男性において事故あるいはヒヤリ・ハットが「あった」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、8歳の子どもの場合に、事故あるいはヒヤリ・ハットが「あった」と回答する割合が若干低くなっています。

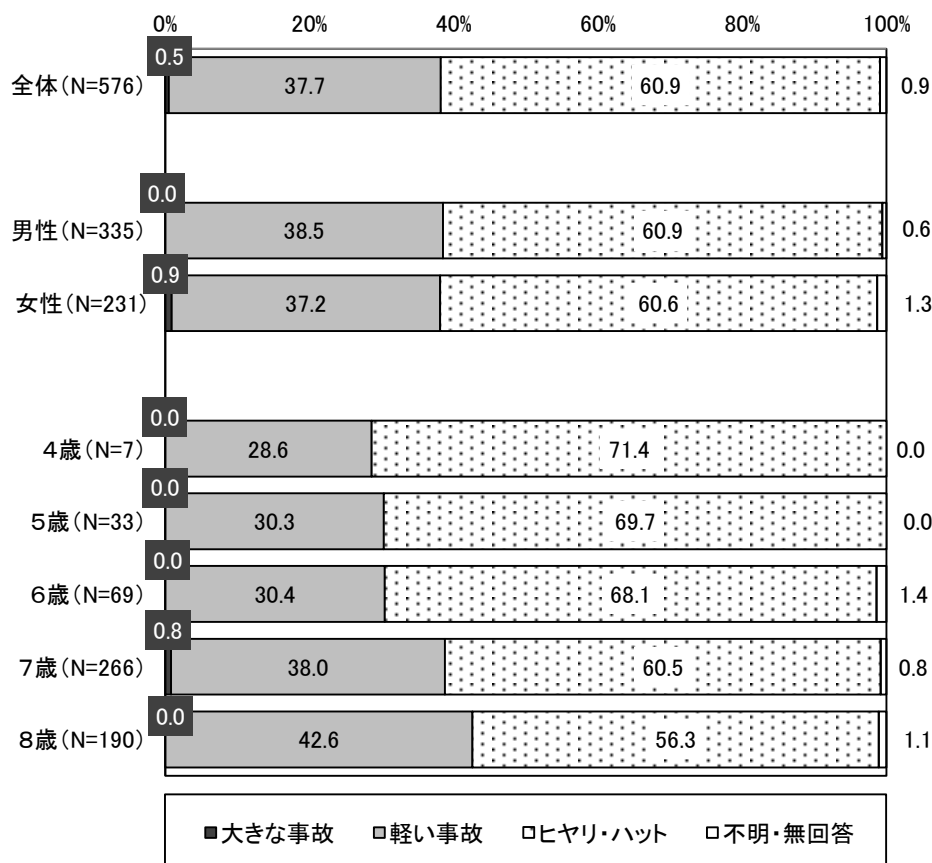


問 15 お子様が体験されたのは次のうちのどれですか。（1つに○）

屋外での体験の内訳についてみると、「大きな事故」が0.5%、「軽い事故」が37.7%、「ヒヤリ・ハット」が60.9%となっています。

性別でみると、女性において「大きな事故」が発生しています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「軽い事故」の割合も増加しており、8歳の場合には4割程度まで増加しています。



屋外での体験について、幼稚園・小学校別でみると、中央小学校を除く全ての幼稚園・小学校において「ヒヤリ・ハット」の割合が最も高くなっており、中央小学校では「軽い事故」の割合が最も高くなっています。

また、第二小学校、長南小学校、中央小学校では「大きな事故」も発生しています。

上段:度数 下段:%	合計	大きな事故	軽い事故	ヒヤリ・ハット	不明・無回答
合計	576	3	217	351	5
	100	0.5	37.7	60.9	0.9
のぞみ幼稚園	16	-	5	11	-
	100	-	31.3	68.8	-
はるか幼稚園	17	-	5	12	-
	100	-	29.4	70.6	-
さくら幼稚園	30	-	8	21	1
	100	-	26.7	70.0	3.3
第一小学校	35	-	12	23	-
	100	-	34.3	65.7	-
第二小学校	90	1	29	59	1
	100	1.1	32.2	65.6	1.1
第三小学校	13	-	5	8	-
	100	-	38.5	61.5	-
日新小学校	37	-	12	24	1
	100	-	32.4	64.9	2.7
北中小学校	35	-	13	22	-
	100	-	37.1	62.9	-

上段:度数 下段:%	合計	大きな事故	軽い事故	ヒヤリ・ハット	不明・無回答
長坂小学校	28	-	11	17	-
	100	-	39.3	60.7	-
日根野小学校	77	-	37	40	-
	100	-	48.1	51.9	-
大木小学校	8	-	1	7	-
	100	-	12.5	87.5	-
上之郷小学校	19	-	9	10	-
	100	-	47.4	52.6	-
長南小学校	47	1	17	29	-
	100	2.1	36.2	61.7	-
末広小学校	41	-	9	30	2
	100	-	22.0	73.2	4.9
佐野台小学校	10	-	5	5	-
	100	-	50.0	50.0	-
中央小学校	73	1	39	33	-
	100	1.4	53.4	45.2	-

※選択肢が少ないため、回答割合が最も多かった選択肢のみ「黒背景・白文字」で表示しています。

※大きな事故があった場合には「薄灰背景」で表示しています。

問 16 事故あるいはヒヤリ・ハットのきっかけを教えてください。

(あてはまるもの全てに○)

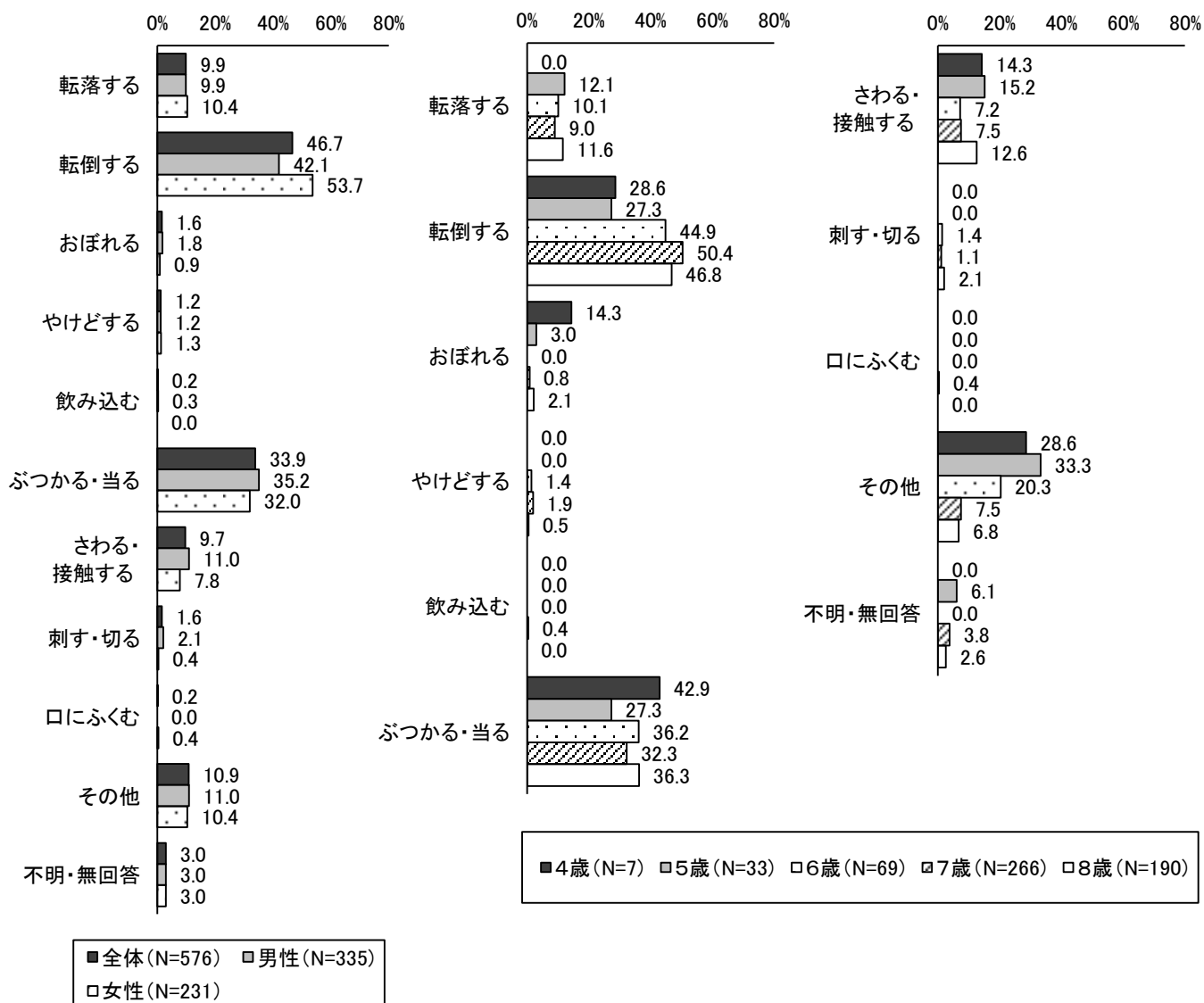
屋外での事故あるいはヒヤリ・ハットのきっかけについてみると、「転倒する」が46.7%と最も高く、次いで「ぶつかる・当る」が33.9%、「転落する」が9.9%となっています。

性別でみると、女性において「転倒する」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「転倒する」の割合が増加しています。

【全体および性別】

【年齢別】



屋外での事故あるいはヒヤリ・ハットのきっかけについて、幼稚園・小学校別でみると、全ての幼稚園・小学校において「転倒する」あるいは「ぶつかる・当る」が上位に入っています。

上段:度数 下段:%	合計	転落する	転倒する	おぼれる	やけどする	飲み込む	ぶつかる・ 当る	さわる・接 触する	刺す・切る	口にふくむ	その他	不明・無回 答
合計	576 100	57 9.9	269 46.7	9 1.6	7 1.2	1 0.2	195 33.9	56 9.7	9 1.6	1 0.2	63 10.9	17 3.0
のぞみ幼稚園	16 100	1 6.3	6 37.5	-	-	-	6 37.5	2 12.5	-	-	4 25.0	-
はるか幼稚園	17 100	1 5.9	4 23.5	1 5.9	-	-	5 29.4	-	-	-	10 58.8	2 11.8
さくら幼稚園	30 100	4 13.3	10 33.3	2 6.7	-	-	10 33.3	5 16.7	1 3.3	-	6 20.0	-
第一小学校	35 100	3 8.6	14 40.0	-	1 2.9	-	13 37.1	2 5.7	2 5.7	-	8 22.9	1 2.9
第二小学校	90 100	9 10.0	31 34.4	3 3.3	1 1.1	-	36 40.0	10 11.1	2 2.2	-	9 10.0	2 2.2
第三小学校	13 100	-	7 53.8	-	-	1 7.7	4 30.8	1 7.7	-	-	2 15.4	1 7.7
日新小学校	37 100	1 2.7	20 54.1	1 2.7	2 5.4	-	10 27.0	7 18.9	1 2.7	-	3 8.1	2 5.4
北中小学校	35 100	8 22.9	13 37.1	-	-	-	13 37.1	4 11.4	2 5.7	-	2 5.7	3 8.6
長坂小学校	28 100	5 17.9	12 42.9	-	-	-	8 28.6	2 7.1	-	-	3 10.7	-
日根野小学校	77 100	5 6.5	41 53.2	-	-	-	25 32.5	7 9.1	-	-	5 6.5	2 2.6
大木小学校	8 100	1 12.5	4 50.0	-	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	-	-	-	1 12.5
上之郷小学校	19 100	1 5.3	14 73.7	-	-	-	2 10.5	4 21.1	-	1 5.3	5 26.3	-
長南小学校	47 100	6 12.8	25 53.2	1 2.1	1 2.1	-	16 34.0	2 4.3	-	-	3 6.4	2 4.3
末広小学校	41 100	6 14.6	17 41.5	-	-	-	17 41.5	2 4.9	-	-	3 7.3	1 2.4
佐野台小学校	10 100	-	9 90.0	-	-	-	1 10.0	2 20.0	-	-	-	-
中央小学校	73 100	6 8.2	42 57.5	1 1.4	1 1.4	-	28 38.4	5 6.8	1 1.4	-	4 5.5	-

※母数が20以下の幼稚園・小学校については、割合が最も高い項目のみ「薄灰背景」で表示しています。

問 17 事故あるいはヒヤリ・ハットが発生した場所を教えてください。

(あてはまるもの全てに○)

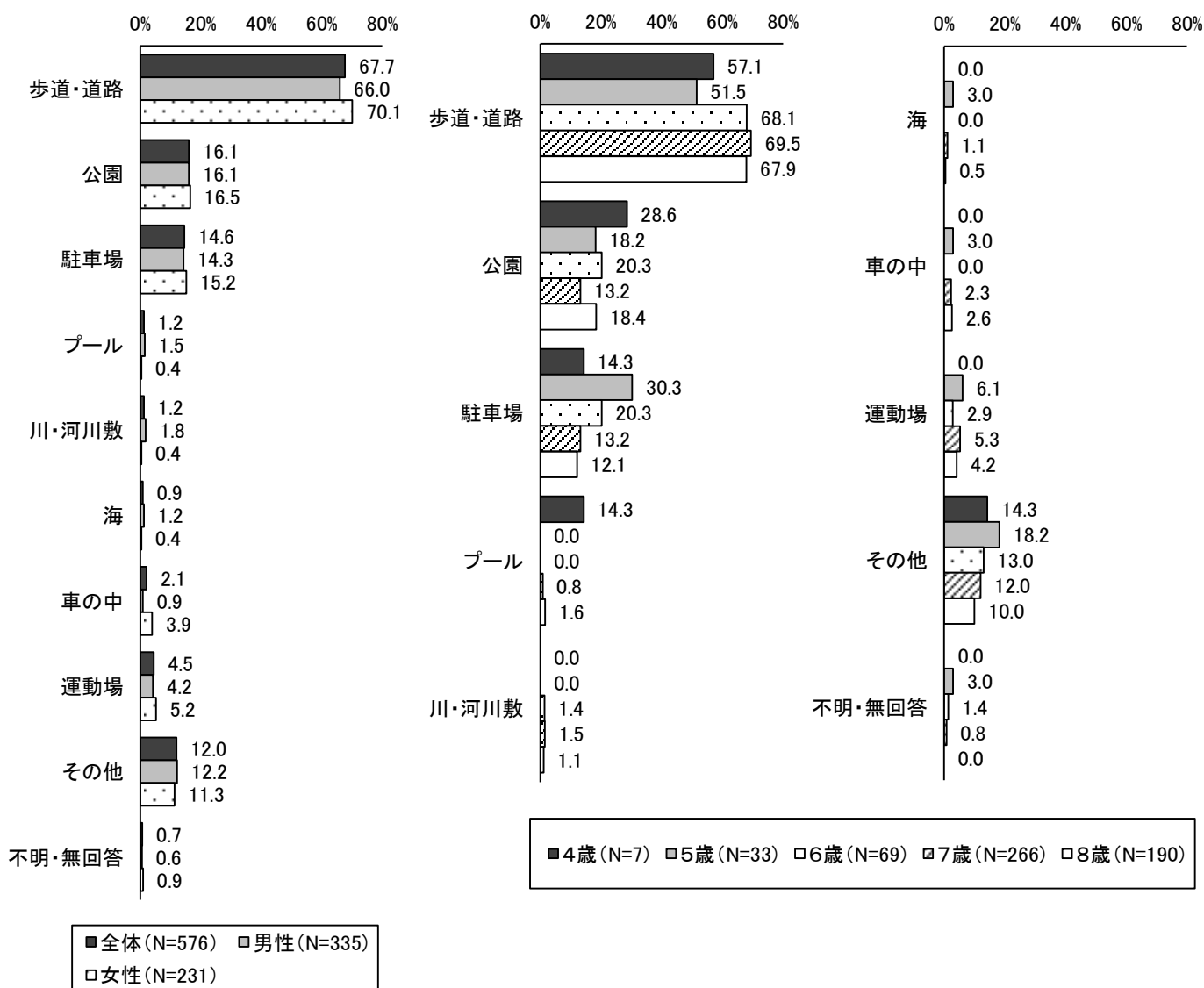
屋外での事故あるいはヒヤリ・ハットが発生した場所についてみると、「歩道・道路」が67.7%と最も高く、次いで「公園」が16.1%、「駐車場」が14.6%となっています。

性別で見ると、女性において「歩道・道路」の割合が若干高くなっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「歩道・道路」の割合が高くなっています。また、5歳および6歳の場合に「駐車場」の割合が比較的高くなっています。

【全体および性別】

【年齢別】



屋外での事故あるいはヒヤリ・ハットが発生した場所について、幼稚園・小学校別でみると、全ての幼稚園・小学校において「歩道・道路」「公園」「駐車場」のうちのいずれか1つ以上が上位に入っています。また、第二小学校、日根野小学校、中央小学校においては、「歩道・道路」の割合が他の幼稚園・小学校と比べると比較的高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	歩道・道路	公園	駐車場	プール	川・河川敷	海	車の中	運動場	その他	不明・無回答
合計	576 100	390 67.7	93 16.1	84 14.6	7 1.2	7 1.2	5 0.9	12 2.1	26 4.5	69 12.0	4 0.7
のぞみ幼稚園	16 100	9 56.3	3 18.8	3 18.8	-	-	-	-	-	3 18.8	-
はるか幼稚園	17 100	6 35.3	3 17.6	6 35.3	1 5.9	-	-	1 5.9	-	3 17.6	2 11.8
さくら幼稚園	30 100	21 70.0	7 23.3	6 20.0	1 3.3	-	1 3.3	-	3 10.0	2 6.7	-
第一小学校	35 100	22 62.9	7 20.0	6 17.1	-	-	-	-	1 2.9	7 20.0	-
第二小学校	90 100	64 71.1	11 12.2	13 14.4	2 2.2	-	-	3 3.3	3 3.3	12 13.3	1 1.1
第三小学校	13 100	9 69.2	2 15.4	2 15.4	-	-	-	1 7.7	3 23.1	1 7.7	-
日新小学校	37 100	25 67.6	8 21.6	4 10.8	1 2.7	1 2.7	1 2.7	-	5 13.5	3 8.1	1 2.7
北中小学校	35 100	24 68.6	4 11.4	6 17.1	-	2 5.7	-	2 5.7	2 5.7	2 5.7	-
長坂小学校	28 100	13 46.4	6 21.4	3 10.7	-	1 3.6	-	1 3.6	1 3.6	5 17.9	-
日根野小学校	77 100	59 76.6	13 16.9	6 7.8	-	-	1 1.3	-	4 5.2	4 5.2	-
大木小学校	8 100	2 25.0	1 12.5	3 37.5	-	-	-	-	-	2 25.0	-
上之郷小学校	19 100	14 73.7	2 10.5	3 15.8	-	1 5.3	-	-	-	2 10.5	-
長南小学校	47 100	30 63.8	5 10.6	9 19.1	-	1 2.1	2 4.3	1 2.1	4 8.5	6 12.8	-
末広小学校	41 100	24 58.5	10 24.4	9 22.0	-	1 2.4	-	1 2.4	-	7 17.1	-
佐野台小学校	10 100	7 70.0	1 10.0	2 20.0	-	-	-	1 10.0	-	2 20.0	-
中央小学校	73 100	61 83.6	10 13.7	3 4.1	2 2.7	-	-	1 1.4	-	8 11.0	-

※母数が20以下の幼稚園・小学校については、割合が最も高い項目のみ「薄灰背景」で表示しています。

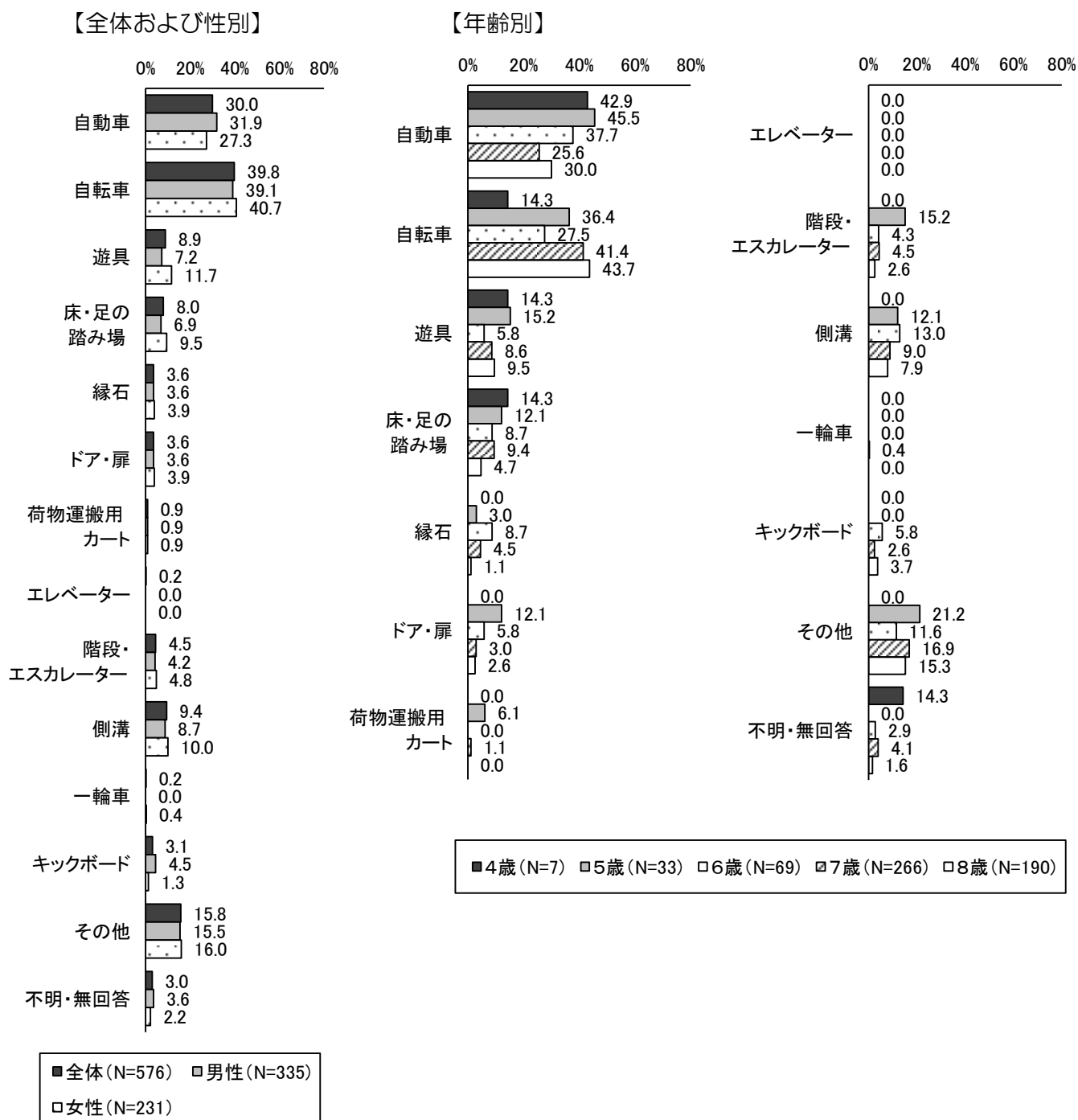
問 18 事故あるいはヒヤリ・ハットの原因について教えてください。

(あてはまるもの全てに○)

屋外での事故あるいはヒヤリ・ハットの原因についてみると、「自転車」が 39.8%と最も高く、次いで「自動車」が 30.0%、「側溝」が 9.4%となっています。

性別でみると、男性では「自動車」、女性では「遊具」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「自動車」「階段・エスカレーター」の割合が減少している一方で、「自転車」の割合が増加しています。



屋外での事故あるいはヒヤリ・ハットの原因について、幼稚園・小学校別でみると、全ての幼稚園・小学校において「自動車」あるいは「自転車」が上位に入っています。

上段:度数 下段:%	合計	自動車	自転車	遊具	床・足の踏 み場	縁石	ドア・扉	荷物運搬用 カート	エレベ ーター	階段・エス カレーター	側溝	一輪車	キックボ ード	その他	不明・無回 答
合計	576 100	173 30.0	229 39.8	51 8.9	46 8.0	21 3.6	21 3.6	5 0.9	1 0.2	26 4.5	54 9.4	1 0.2	18 3.1	91 15.8	17 3.0
のぞみ幼稚 園	16 100	7 43.8	5 31.3	4 25.0	-	-	1 6.3	-	-	1 6.3	2 12.5	-	1 6.3	2 12.5	-
はるか幼稚 園	17 100	9 52.9	7 41.2	-	-	-	-	-	-	1 5.9	1 5.9	-	-	5 29.4	-
さくら幼稚 園	30 100	13 43.3	8 26.7	4 13.3	7 23.3	3 10.0	5 16.7	2 6.7	-	3 10.0	3 10.0	-	1 3.3	1 3.3	2 6.7
第一小学校	35 100	15 42.9	12 34.3	5 14.3	1 2.9	2 5.7	2 5.7	-	-	-	-	-	-	4 11.4	1 2.9
第二小学校	90 100	26 28.9	40 44.4	5 5.6	7 7.8	2 2.2	2 2.2	1 1.1	-	4 4.4	9 10.0	-	-	16 17.8	-
第三小学校	13 100	2 15.4	7 53.8	2 15.4	-	1 7.7	-	-	-	-	-	-	-	2 15.4	1 7.7
日新小学校	37 100	14 37.8	15 40.5	1 2.7	2 5.4	1 2.7	-	-	-	2 5.4	1 2.7	-	1 2.7	7 18.9	4 10.8
北中小学校	35 100	6 17.1	18 51.4	5 14.3	3 8.6	2 5.7	1 2.9	1 2.9	-	2 5.7	2 5.7	-	1 2.9	6 17.1	1 2.9
長坂小学校	28 100	7 25.0	5 17.9	7 25.0	2 7.1	-	1 3.6	-	-	3 10.7	3 10.7	1 3.6	-	4 14.3	-
日根野小学 校	77 100	23 29.9	25 32.5	3 3.9	12 15.6	6 7.8	3 3.9	-	-	2 2.6	4 5.2	-	7 9.1	10 13.0	1 1.3
大木小学校	8 100	2 25.0	1 12.5	2 25.0	-	-	-	-	-	-	1 12.5	-	-	2 25.0	-
上之郷小学 校	19 100	3 15.8	9 47.4	2 10.5	3 15.8	-	-	-	-	1 5.3	4 21.1	-	-	2 10.5	1 5.3
長南小学校	47 100	19 40.4	15 31.9	3 6.4	4 8.5	-	2 4.3	1 2.1	-	3 6.4	7 14.9	-	2 4.3	9 19.1	2 4.3
末広小学校	41 100	11 26.8	23 56.1	3 7.3	3 7.3	3 7.3	3 7.3	-	1 2.4	3 7.3	5 12.2	-	1 2.4	8 19.5	-
佐野台小学 校	10 100	2 20.0	6 60.0	-	-	-	1 10.0	-	-	-	1 10.0	-	-	3 30.0	-
中央小学校	73 100	14 19.2	33 45.2	5 6.8	2 2.7	1 1.4	-	-	-	1 1.4	11 15.1	-	4 5.5	10 13.7	4 5.5

※母数が20以下の幼稚園・小学校については、割合が最も高い項目のみ「薄灰背景」で表示しています。

問 19 事故の結果、お子様にはどのような症状があらわれましたか。

(あてはまるもの全てに○)

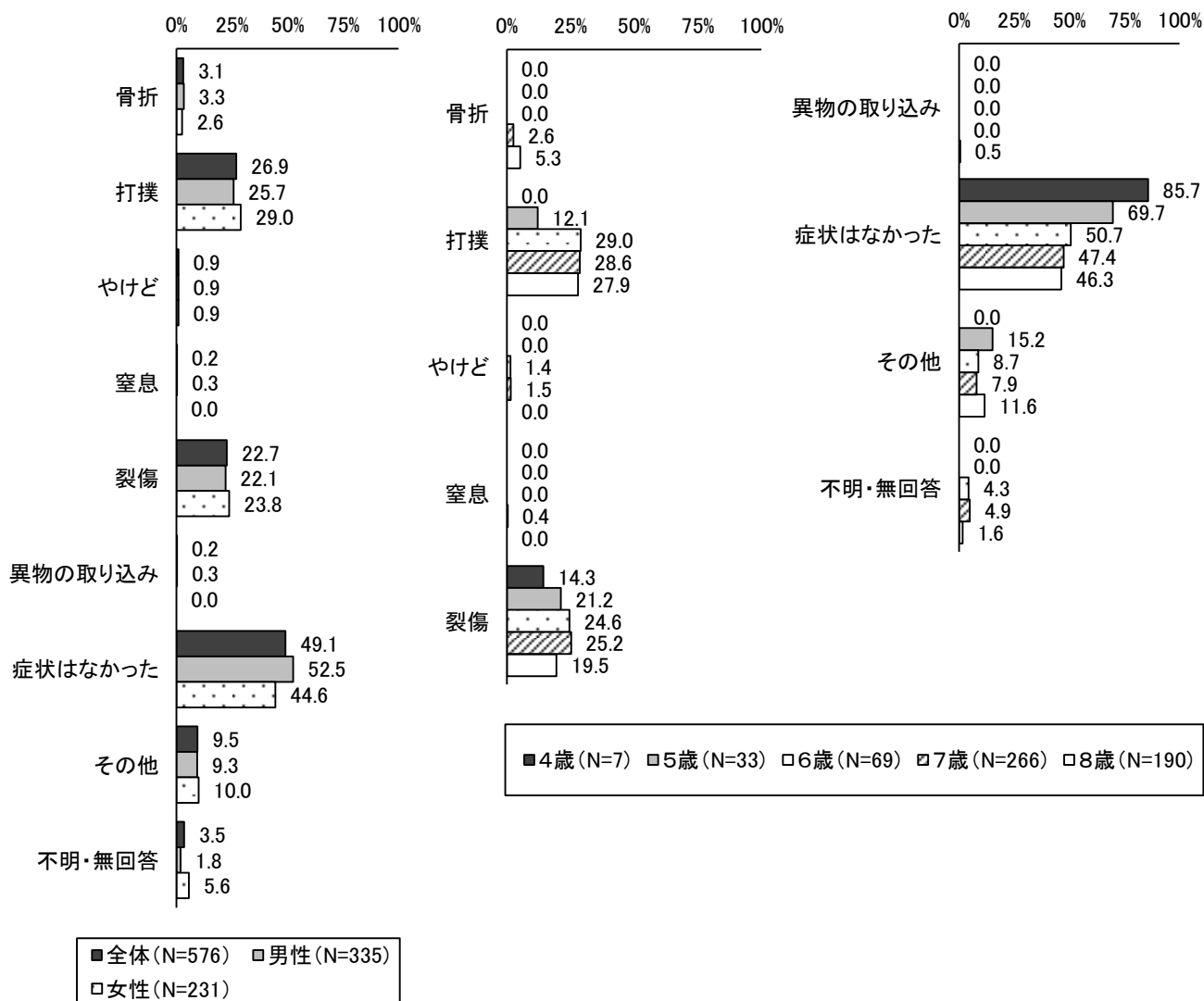
屋外での事故の結果あらわれた症状についてみると、「打撲」が 26.9%と最も高く、次いで「裂傷」が 22.7%、「骨折」が 3.1%となっています。

性別でみると、女性において「打撲」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「症状はなかった」の割合が減少しています。

【全体および性別】

【年齢別】



問 20 事故あるいはヒヤリ・ハットの内容について、具体的に教えてください。

【主な事故・ヒヤリ・ハットの内容】

発生場所	内容
道路	通学中に話をしながら道を横切ろうとして、後ろから来ていた車に気づかずにぶつかりそうになった
	歩道のない道を通行中に、車にぶつかりそうになった
	夜に自転車のライトをつけずに走っていたので、急に曲がってきた車とぶつかりそうになった
駐車場	駐車場で周りを見ずに飛び出し、車にぶつかりそうになった
	駐車場でバックしていた車にぶつかりそうになった
横断歩道	信号を確認せずに横断歩道を渡ろうとしていた
	横断歩道を渡っている最中に車が突っ込んできた
側溝	側溝がぬれていたため、足を滑らせ転落してしまった
	車を避けようとしたら側溝に転落した
	ゲームをしながら歩いていたら、側溝に転落した
階段	遊びに夢中でいきおいよく階段をのぼってしまい、転落した
	階段を走って降りたために転倒した
施設内	買い物客の子どもが売り場を走り回り、他の人にぶつかりそうになっていた
	エスカレーターの降り口で子どもが落とし物を拾おうとして、指をはさみかけた
	エレベーターの扉に近づきすぎている
海・プール	遊泳をしていて足の届かない所でおぼれかけた
	プールの滑り台で転倒し、ケガをした
田畑	自転車を走行中に端によりすぎ、田んぼにはまって転倒した
	田んぼの水路で遊んでいて落ちたことがあった
駅	駆け込み乗車をして電車とホームの間に足がはさまった

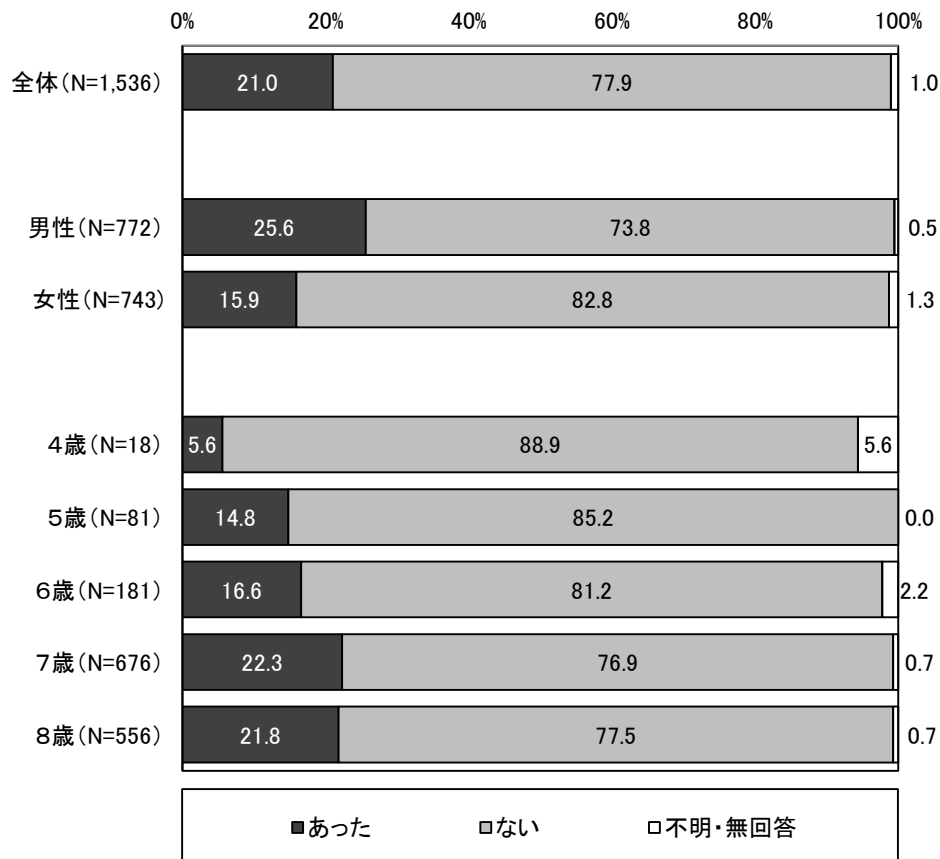
2-4 幼稚園・小学校での事故についておうかがいします

問 21 最近一年以内に、幼稚園・小学校での事故はありましたか。（1つに○）

幼稚園・小学校での事故の有無についてみると、「あった」が21.0%、「ない」が77.9%となっています。

性別でみると、男性において事故が「あった」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて事故が「あった」と回答する割合が増加しており、7歳および8歳では、事故が「あった」は2割以上となっています。

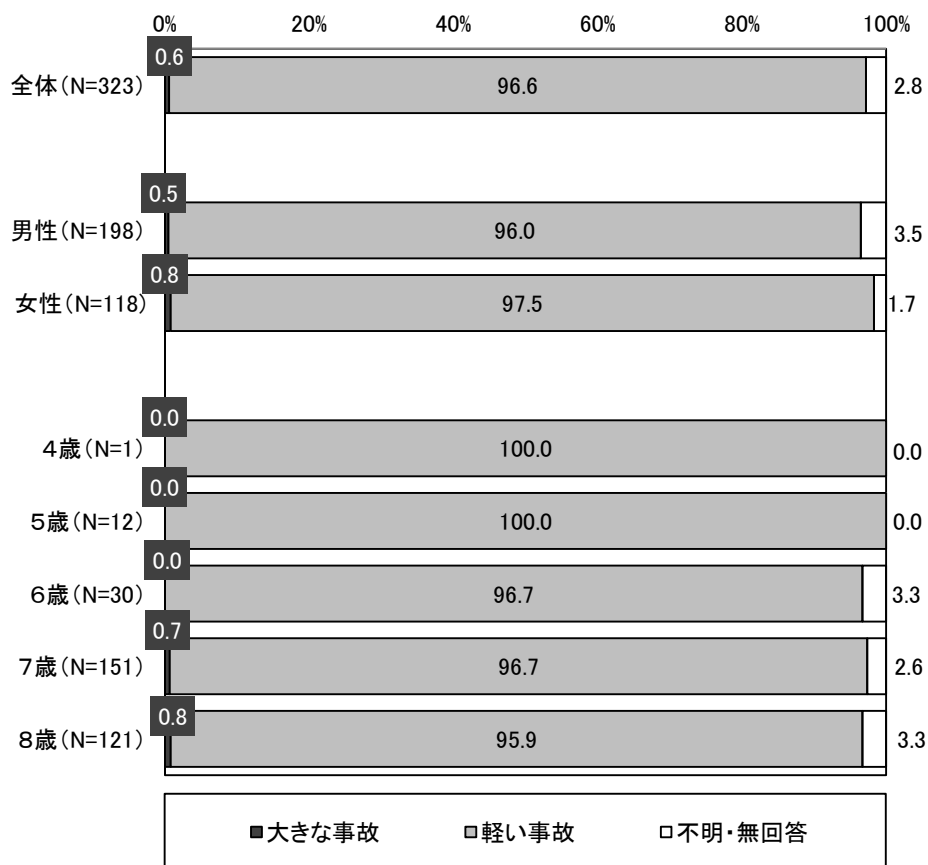


問 22 お子様が体験された事故は次のうちのどれですか。（1つに○）

幼稚園・小学校での体験の内訳についてみると、「大きな事故」が0.6%、「軽い事故」が96.6%となっています。

性別でみると、男女ともに「大きな事故」が発生しています。

年齢別でみると、7歳および8歳において「大きな事故」が発生しています。



幼稚園・小学校での体験について、幼稚園・小学校別でみると、上之郷小学校および末広小学校において「大きな事故」が発生しています。

上段:度数 下段:%	合計	大きな事故	軽い事故	不明・無回答
合計	323 100	2 0.6	312 96.6	9 2.8
のぞみ幼稚園	5 100	-	5 100.0	-
はるか幼稚園	7 100	-	7 100.0	-
さくら幼稚園	13 100	-	13 100.0	-
第一小学校	17 100	-	16 94.1	1 5.9
第二小学校	43 100	-	42 97.7	1 2.3
第三小学校	6 100	-	6 100.0	-
日新小学校	21 100	-	21 100.0	-
北中小学校	25 100	-	23 92.0	2 8.0

上段:度数 下段:%	合計	大きな事故	軽い事故	不明・無回答
長坂小学校	18 100	-	17 94.4	1 5.6
日根野小学校	61 100	-	61 100.0	-
大木小学校	4 100	-	4 100.0	-
上之郷小学校	14 100	1 7.1	13 92.9	-
長南小学校	33 100	-	32 97.0	1 3.0
末広小学校	19 100	1 5.3	16 84.2	2 10.5
佐野台小学校	7 100	-	6 85.7	1 14.3
中央小学校	30 100	-	30 100.0	-

※大きな事故があった場合には、「薄灰背景」で表示しています。

問 23 事故のきっかけを教えてください。（あてはまるもの全てに○）

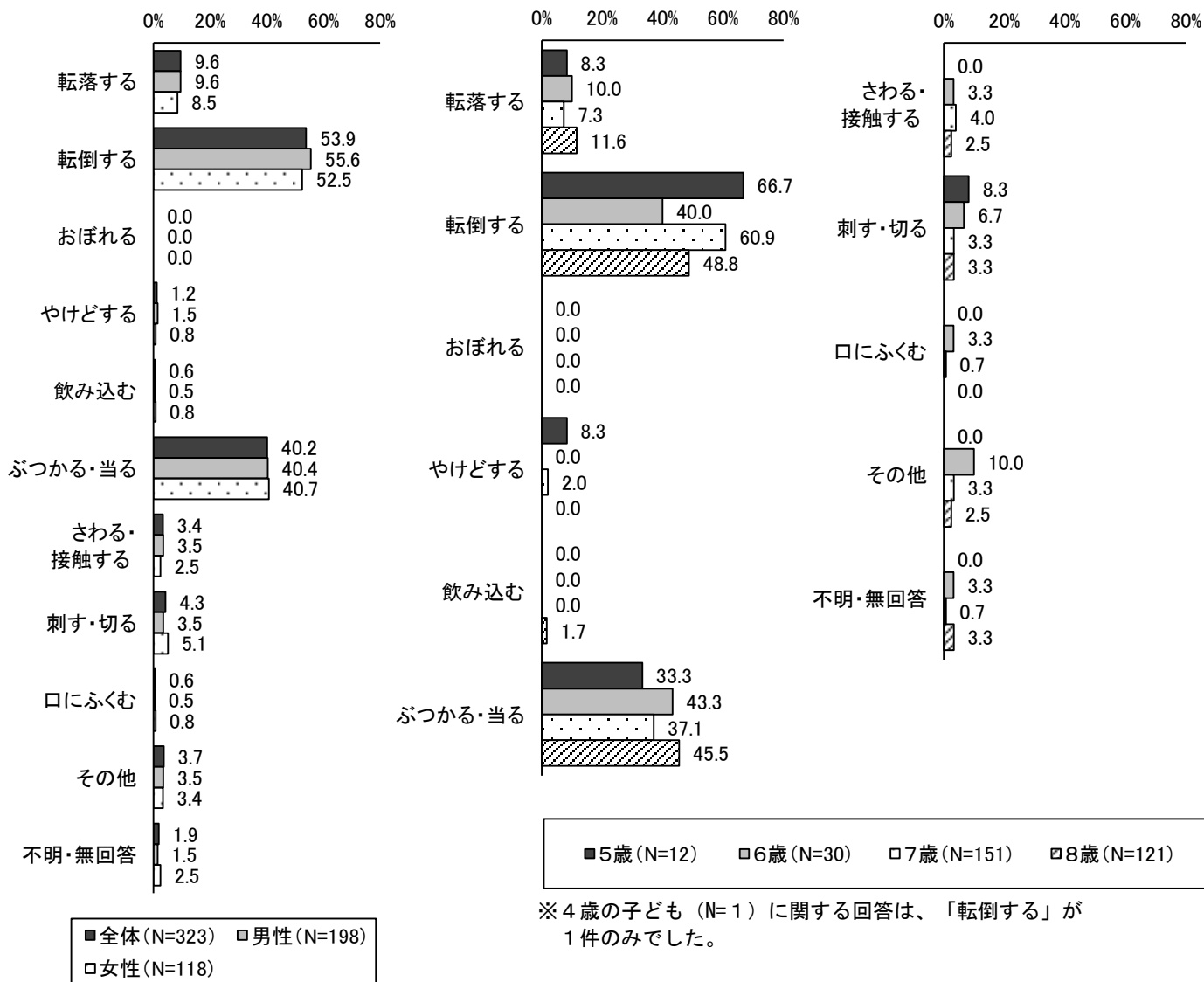
屋外での事故のきっかけについてみると、「転倒する」が53.9%と最も高く、次いで「ぶつかる・当る」が40.2%、「転落する」が9.6%となっています。

性別でみると、男性において「転倒する」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、6歳を除く全ての年齢において「転倒する」が最も高くなっており、6歳においては「ぶつかる・当る」が最も高くなっています。

【全体および性別】

【年齢別】



幼稚園・小学校での事故のきっかけについて、幼稚園・小学校別でみると、全ての幼稚園・小学校において「転倒する」あるいは「ぶつかる・当る」が上位に入っています。

上段:度数 下段:%	合計	転落する	転倒する	おぼれる	やけどする	飲み込む	ぶつかる・ 当る	さわる・接 触する	刺す・切る	口にふくむ	その他	不明・無回 答
合計	323 100	31 9.6	174 53.9	-	4 1.2	2 0.6	130 40.2	11 3.4	14 4.3	2 0.6	12 3.7	6 1.9
のぞみ幼稚園	5 100	2 40.0	2 40.0	-	-	-	3 60.0	-	-	-	1 20.0	-
はるか幼稚園	7 100	-	5 71.4	-	-	-	2 28.6	-	-	-	1 14.3	-
さくら幼稚園	13 100	1 7.7	6 46.2	-	1 7.7	-	5 38.5	1 7.7	1 7.7	-	1 7.7	-
第一小学校	17 100	1 5.9	10 58.8	-	-	-	8 47.1	1 5.9	-	-	-	-
第二小学校	43 100	2 4.7	19 44.2	-	1 2.3	-	18 41.9	2 4.7	-	-	2 4.7	2 4.7
第三小学校	6 100	1 16.7	2 33.3	-	-	-	4 66.7	-	-	-	-	-
日新小学校	21 100	2 9.5	12 57.1	-	1 4.8	-	5 23.8	1 4.8	2 9.5	-	1 4.8	-
北中小学校	25 100	4 16.0	16 64.0	-	-	1 4.0	8 32.0	2 8.0	-	-	1 4.0	-
長坂小学校	18 100	1 5.6	12 66.7	-	-	1 5.6	8 44.4	-	1 5.6	-	-	-
日根野小学校	61 100	8 13.1	30 49.2	-	-	-	28 45.9	2 3.3	5 8.2	1 1.6	-	1 1.6
大木小学校	4 100	-	4 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上之郷小学校	14 100	1 7.1	9 64.3	-	-	-	6 42.9	-	1 7.1	-	-	-
長南小学校	33 100	2 6.1	16 48.5	-	1 3.0	-	17 51.5	1 3.0	1 3.0	1 3.0	3 9.1	1 3.0
末広小学校	19 100	3 15.8	12 63.2	-	-	-	5 26.3	1 5.3	1 5.3	-	1 5.3	1 5.3
佐野台小学校	7 100	-	4 57.1	-	-	-	2 28.6	-	-	-	1 14.3	1 14.3
中央小学校	30 100	3 10.0	15 50.0	-	-	-	11 36.7	-	2 6.7	-	-	-

※母数が10以下の幼稚園・小学校については、割合が最も高い項目のみ「薄灰背景」で表示しています。

問 24 事故が発生した場所を教えてください。（あてはまるもの全てに○）

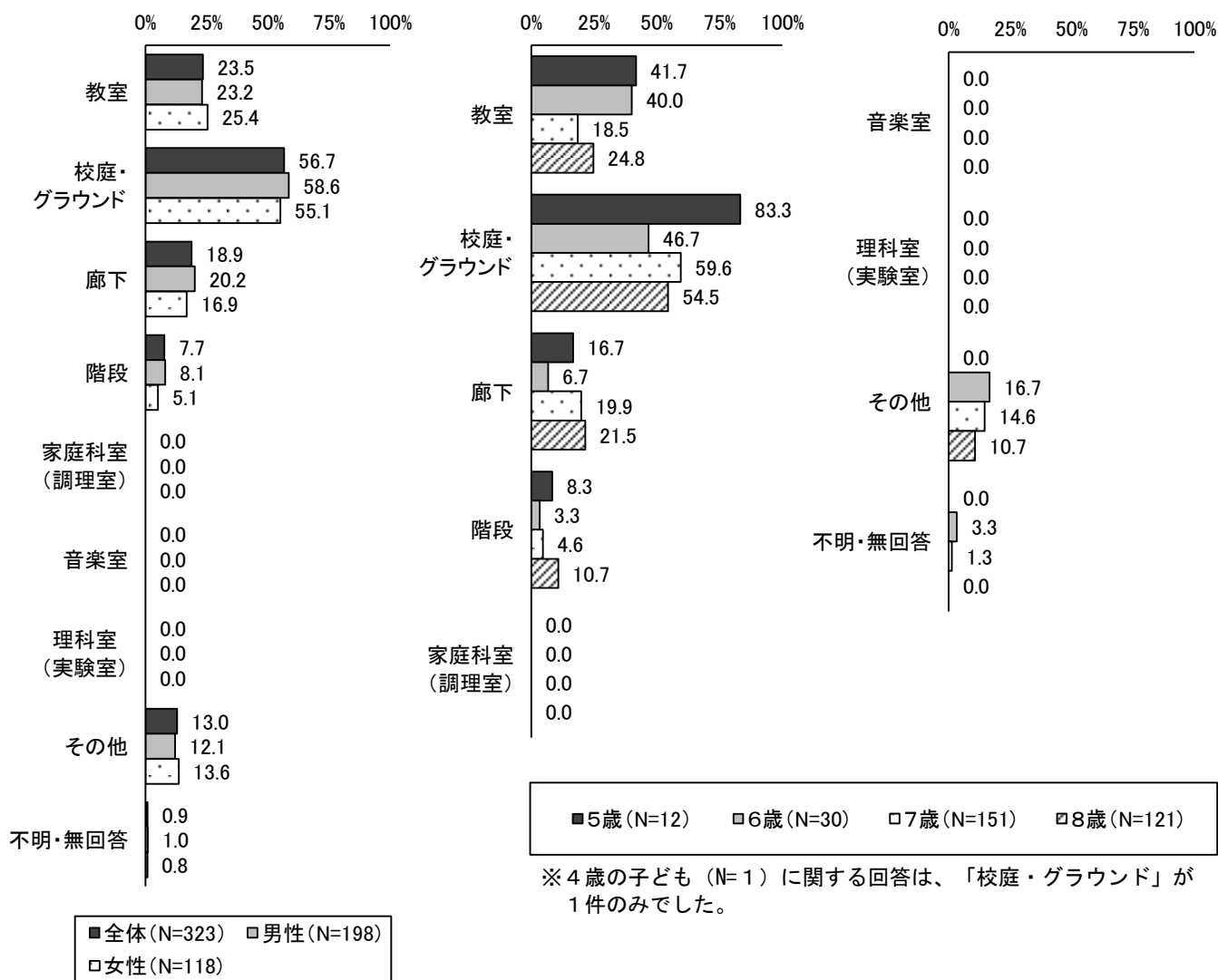
幼稚園・小学校での事故が発生した場所についてみると、「校庭・グラウンド」が56.7%と最も高く、次いで「教室」が23.5%、「廊下」が18.9%となっています。

性別でみると、男性では「廊下」、女性では「教室」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「廊下」および「階段」の割合が若干増加しています。

【全体および性別】

【年齢別】



※ 4歳の子ども (N=1) に関する回答は、「校庭・グラウンド」が1件のみでした。

幼稚園・小学校での事故が発生した場所について、幼稚園・小学校別でみると、全ての幼稚園・小学校において「校庭・グラウンド」「教室」「廊下」のいずれか1つ以上が上位に入っています。

上段:度数 下段:%	合計	教室	校庭・グラ ウンド	廊下	階段	家庭科室 (調理室)	音楽室	理科室(実 験室)	その他	不明・無回 答
合計	323 100	76 23.5	183 56.7	61 18.9	25 7.7	-	-	-	42 13.0	3 0.9
のぞみ幼稚園	5 100	2 40.0	3 60.0	1 20.0	-	-	-	-	-	1 20.0
はるか幼稚園	7 100	1 14.3	6 85.7	-	-	-	-	-	1 14.3	-
さくら幼稚園	13 100	7 53.8	10 76.9	2 15.4	1 7.7	-	-	-	-	-
第一小学校	17 100	3 17.6	11 64.7	2 11.8	-	-	-	-	3 17.6	-
第二小学校	43 100	17 39.5	17 39.5	7 16.3	1 2.3	-	-	-	5 11.6	-
第三小学校	6 100	-	2 33.3	4 66.7	-	-	-	-	-	-
日新小学校	21 100	2 9.5	14 66.7	5 23.8	2 9.5	-	-	-	2 9.5	-
北中小学校	25 100	3 12.0	16 64.0	4 16.0	1 4.0	-	-	-	7 28.0	-
長坂小学校	18 100	5 27.8	13 72.2	5 27.8	1 5.6	-	-	-	-	-
日根野小学校	61 100	20 32.8	25 41.0	13 21.3	9 14.8	-	-	-	8 13.1	-
大木小学校	4 100	-	2 50.0	-	-	-	-	-	2 50.0	-
上之郷小学校	14 100	3 21.4	11 78.6	1 7.1	-	-	-	-	1 7.1	-
長南小学校	33 100	6 18.2	16 48.5	8 24.2	6 18.2	-	-	-	7 21.2	1 3
末広小学校	19 100	4 21.1	10 52.6	4 21.1	2 10.5	-	-	-	2 10.5	1 5.3
佐野台小学校	7 100	2 28.6	4 57.1	1 14.3	-	-	-	-	-	-
中央小学校	30 100	1 3.3	23 76.7	4 13.3	2 6.7	-	-	-	4 13.3	-

※母数が10以下の幼稚園・小学校については、割合が最も高い項目のみ「薄灰背景」で表示しています。

問 25 事故の原因について教えてください。（あてはまるもの全てに○）

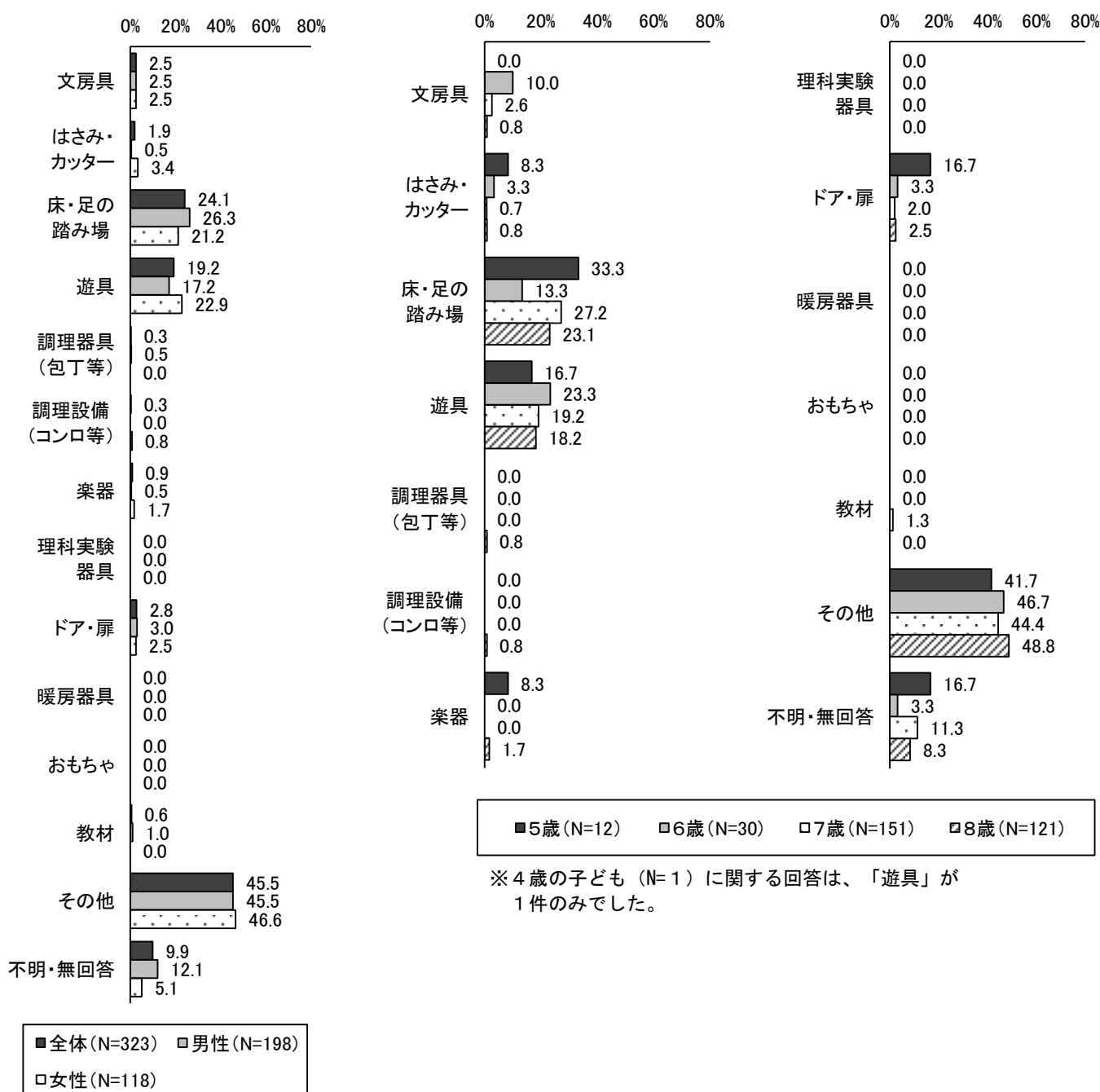
幼稚園・小学校での事故の原因についてみると、「床・足の踏み場」が24.1%と最も高く、次いで「遊具」が19.2%、「ドア・扉」が2.8%となっています。

性別でみると、男性では「床・足の踏み場」、女性では「遊具」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「文房具」「はさみ・カッター」の割合が若干減少しています。

【全体および性別】

【年齢別】



幼稚園・小学校での事故の原因について、幼稚園・小学校別で見ると、第三小学校を除く全ての幼稚園・小学校において、「床・足の踏み場」および「遊具」のいずれかが上位に入っています。

上段：度数 下段：%	合計	文房具	はさみ・ カッター	床・足の踏 み場	遊具	調理器具 (包丁等)	調理設備 (コンロ 等)	楽器	理科実験器 具	ドア・屏	暖房器具	おもちゃ	教材	その他	不明・無回 答
合計	323 100	8 2.5	6 1.9	78 24.1	62 19.2	1 0.3	1 0.3	3 0.9	-	9 2.8	-	-	2 0.6	147 45.5	32 9.9
のぞみ幼稚園	5 100	-	-	2 40.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 40.0	-
はるか幼稚園	7 100	-	-	1 14.3	3 42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	3 42.9	-
さくら幼稚園	13 100	1 7.7	1 7.7	3 23.1	2 15.4	-	-	1 7.7	-	2 15.4	-	-	-	6 46.2	2 15.4
第一小学校	17 100	-	-	2 11.8	4 23.5	1 5.9	-	-	-	1 5.9	-	-	-	9 52.9	2 11.8
第二小学校	43 100	2 4.7	-	9 20.9	7 16.3	-	-	-	-	1 2.3	-	-	-	21 48.8	4 9.3
第三小学校	6 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4 66.7	2 33.3
日新小学校	21 100	2 9.5	-	5 23.8	3 14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	9 42.9	2 9.5
北中小学校	25 100	-	-	6 24.0	9 36.0	-	-	-	-	-	-	-	-	11 44.0	1 4.0
長坂小学校	18 100	-	1 5.6	6 33.3	3 16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	5 27.8	5 27.8
日根野小学校	61 100	-	2 3.3	18 29.5	8 13.1	-	-	1 1.6	-	2 3.3	-	-	-	32 52.5	1 1.6
大木小学校	4 100	-	-	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 50.0	1 25.0
上之郷小学校	14 100	1 7.1	-	3 21.4	7 50.0	-	-	-	-	1 7.1	-	-	-	3 21.4	-
長南小学校	33 100	2 6.1	-	7 21.2	6 18.2	-	1 3.0	1 3.0	-	1 3.0	-	-	1 3.0	18 54.5	2 6.1
末広小学校	19 100	-	1 5.3	6 31.6	4 21.1	-	-	-	-	-	-	-	1 5.3	9 47.4	1 5.3
佐野台小学校	7 100	-	-	3 42.9	-	-	-	-	-	1 14.3	-	-	-	3 42.9	-
中央小学校	30 100	-	1 3.3	7 23.3	3 10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	10 33.3	9 30.0

※母数が10以下の幼稚園・小学校については、割合が最も高い項目のみ「薄灰背景」で表示しています。

問 26 事故の結果、お子様にはどのような症状があらわれましたか。 (あてはまるもの全てに○)

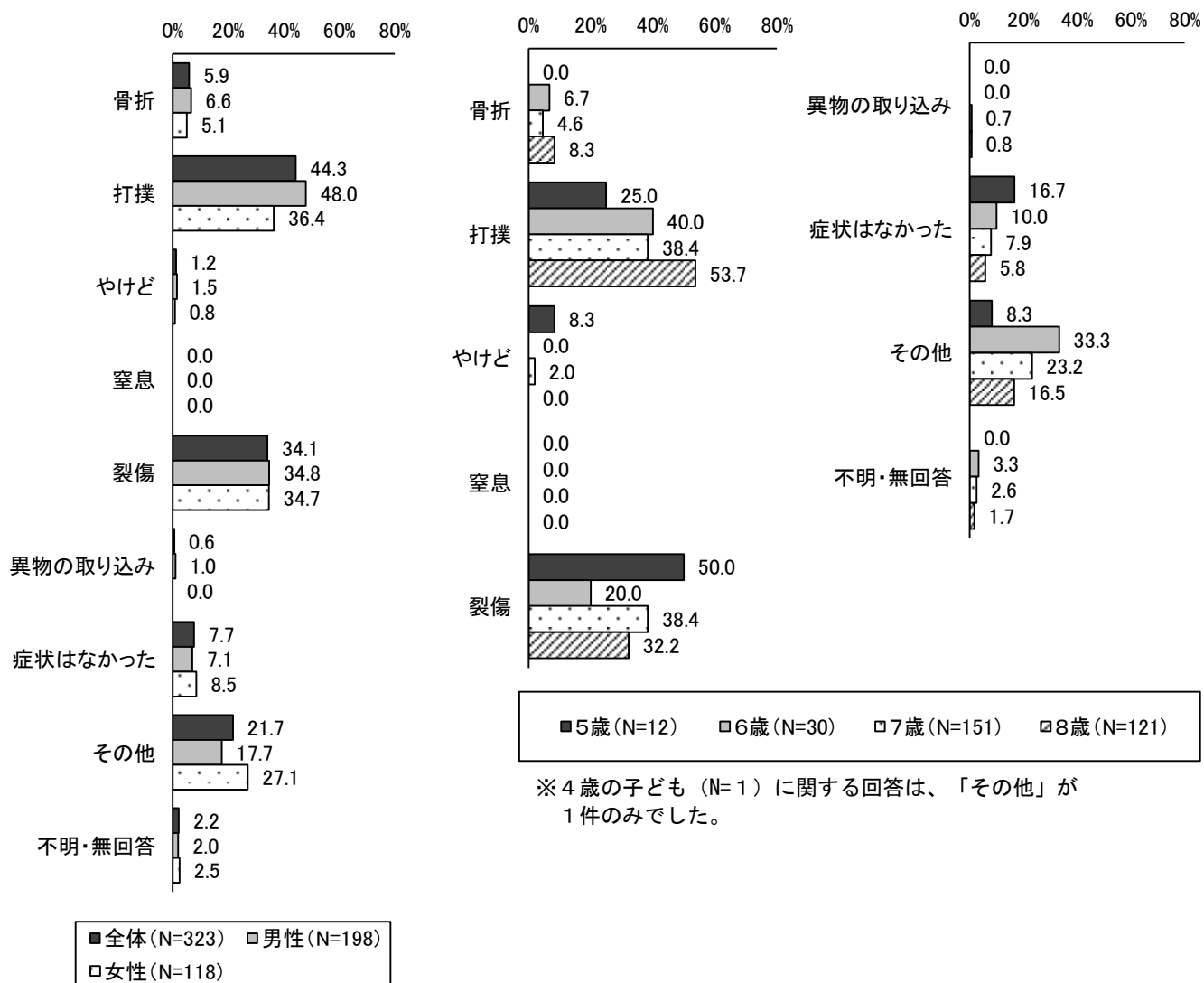
幼稚園・小学校での事故の結果あらわれた症状についてみると、「打撲」が44.3%と最も高く、次いで「裂傷」が34.1%、「骨折」が5.9%となっています。

性別でみると、男性において「打撲」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「打撲」の割合が増加しています。

【全体および性別】

【年齢別】



問 27 事故の内容について、具体的に教えてください。

【主な事故の内容】

発生した時間	内容
体育の時間	跳び箱に手をついた際、バランスをくずしケガをした
	鉄棒から落下し、ケガをした
	組体操の練習中に、バランスがくずれケガをした
運動会などの 体育イベント	持久走大会のスタート時に下敷きになって足を踏まれた
	ゴールテープがのどに絡まり引っ張られ、摩擦でやけどを負った
掃除の時間	児童が持っていたほうきが目の近くに当たった
	雑巾がけの際に、止まることができず机や棚にぶつかった
	階段の掃除をしている際、他の児童がふざけながら降りてきて、ぶつかり転落した
	窓を閉めた際に指をはさんでケガをした
休み時間	ドッジボールをしている時に、ボールを上手く受けられずケガをした
	グラウンドで遊んでいる時に、前を見ないで走ったために他の児童とぶつかった
	コンクリートの校庭で転倒してケガをした
給食の時間	スープを足にこぼしてしまい、やけどを負った
	他の児童が振り回していたスプーンかごがぶつかり、ケガをした
図工の時間	図工の時間にはさみで指を切った
	カッターで添えていた手を切った
そのほか授業中	持っていた鉛筆が目にあたった
	他の児童の持っていたペンのキャップが飛んで目にあたった
	鍵盤ハーモニカを振り回して、児童の顔にあたった
	ヒーターの吹き出し口をさわってやけどを負った

2-5 地域での事故についておうかがいします

問 28 最近一年以内に、特に、以下に掲載している場所やイベントでの事故あるいはヒヤリ・ハットの体験はありましたか。(あてはまるもの全てに○)

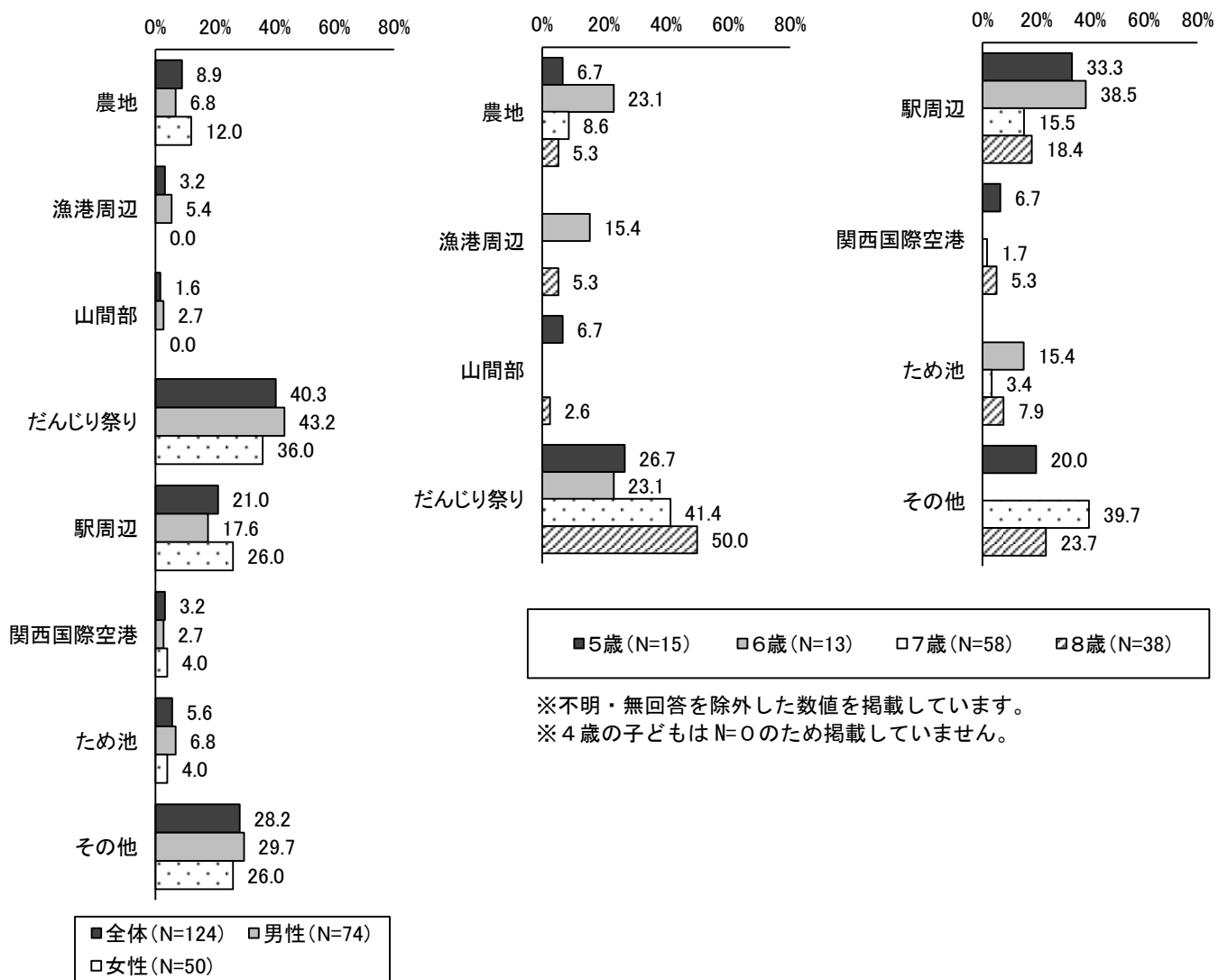
特定の場所やイベントでの事故あるいはヒヤリ・ハットの体験についてみると、「だんじり祭り」が40.3%と最も高く、次いで「駅周辺」が21.0%、「農地」が8.9%となっています。

性別でみると、男性の場合は「漁港周辺」「ため池」、女性の場合は「駅周辺」の割合が若干高くなっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「だんじり祭り」の割合が増加しています。

【全体および性別】

【年齢別】



※不明・無回答を除外した数値を掲載しています。

特定の場所やイベントでの事故あるいはヒヤリ・ハットの体験について、幼稚園・小学校別で見ると、はるか幼稚園と佐野台小学校を除く全ての幼稚園・小学校において「だんじり祭り」が回答されています。また、幼稚園・小学校がある区域内に駅がある幼稚園・小学校においては、「駅周辺」の割合も高くなっています。

そのほかの事故あるいはヒヤリ・ハット体験については、山手に属する幼稚園・小学校では「農地」が高くなっています。また、長坂小学校や日根野小学校など、小学校がある区域内にため池が存在する小学校においては、「ため池」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	農地	漁港周辺	山間部	だんじり祭り	駅周辺	関西国際空港	ため池	その他
合計	124 100	11 8.9	4 3.2	2 1.6	50 40.3	26 21.0	4 3.2	7 5.6	35 28.2
のぞみ幼稚園	6 100	- -	- -	- -	3 50.0	2 33.3	1 16.7	- -	- -
はるか幼稚園	2 100	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -
さくら幼稚園	11 100	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1	3 27.3	- -	- -	3 27.3
第一小学校	5 100	- -	- -	- -	1 20.0	2 40.0	- -	- -	2 40.0
第二小学校	16 100	- -	- -	- -	4 25.0	6 37.5	- -	2 12.5	8 50.0
第三小学校	1 100	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
日新小学校	8 100	- -	- -	- -	6 75.0	- -	1 12.5	- -	1 12.5
北中小学校	13 100	- -	1 7.7	- -	7 53.8	4 30.8	1 7.7	- -	- -
長坂小学校	7 100	- -	- -	- -	3 42.9	1 14.3	- -	2 28.6	3 42.9
日根野小学校	15 100	3 20.0	- -	- -	6 40.0	4 26.7	- -	2 13.3	4 26.7
大木小学校	1 100	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
上之郷小学校	6 100	1 16.7	- -	- -	3 50.0	- -	- -	- -	2 33.3
長南小学校	14 100	1 7.1	- -	- -	9 64.3	- -	1 7.1	- -	4 28.6
末広小学校	8 100	2 25.0	- -	- -	2 25.0	1 12.5	- -	- -	3 37.5
佐野台小学校	3 100	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	2 66.7	- -	1 33.3	1 33.3
中央小学校	8 100	1 12.5	- -	- -	3 37.5	- -	- -	- -	4 50.0

※不明・無回答を除外した数値を掲載しています。

※母数が10以下の幼稚園・小学校については、割合が最も高い項目のみ「薄灰背景」で表示しています。

※上位選択肢には入っていないが、分析文において言及した数値については、「太字」で表示しています。

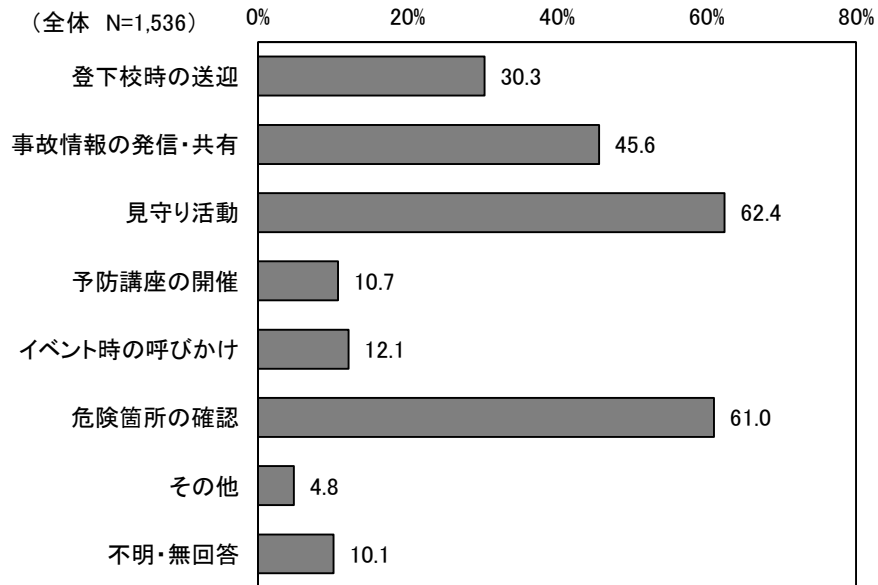
問 29 上記の場所での事故あるいはヒヤリ・ハットの内容について、具体的に教えてください。

【主な事故・ヒヤリ・ハットの内容】

場所やイベント	内容
だんじり祭り	だんじりの速さについていけずに転倒した
	祭りの最中は信号が点灯しないので車やバイクと接触しそうになる
	だんじりのやり回しで多くの人が転倒していた
	だんじりの屋根にのっている子どもが落下しないかが気にかかる
農地	子どもが触れると危険だと思われる農機具が農地にある
	田んぼの放水時に子どもが入ってこないかが心配である
	田んぼで遊んでいると、足が田んぼにはまってしまうことがある
ため池	入ってはいけないため池に子どもが侵入している
	ため池が水を含み、沼地になっていた
	ため池の周辺が草地になっており、どこからがため池なのか分らない
溝・用水路	側溝のふたがないところに落ちてケガをした
	暗い夜道で周りが見えず、溝にはまってしまった
	大雨の後には用水路の水位が増すため、危険を感じる
横断歩道	横断歩道に信号がないので車が止まってくれず、待ちきれずに渡ってしまうことがある
道路	駅周辺の道路が狭く、車と接触しそうになった
	狭い道でも速度を緩めない車があり、ぶつかりそうになる
	公園から車道への飛び出しがあった
	車の隙間から人や自転車が飛び出してきた

問 30 子どもの事故やヒヤリ・ハットを防ぐために、地域で取り組んでほしいことは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

事故やヒヤリ・ハットを防止するために地域で取り組んでほしいことについてみると、「見守り活動」が62.4%と最も高く、次いで「危険箇所の確認」が61.0%、「事故情報の発信・共有」が46.6%となっています。



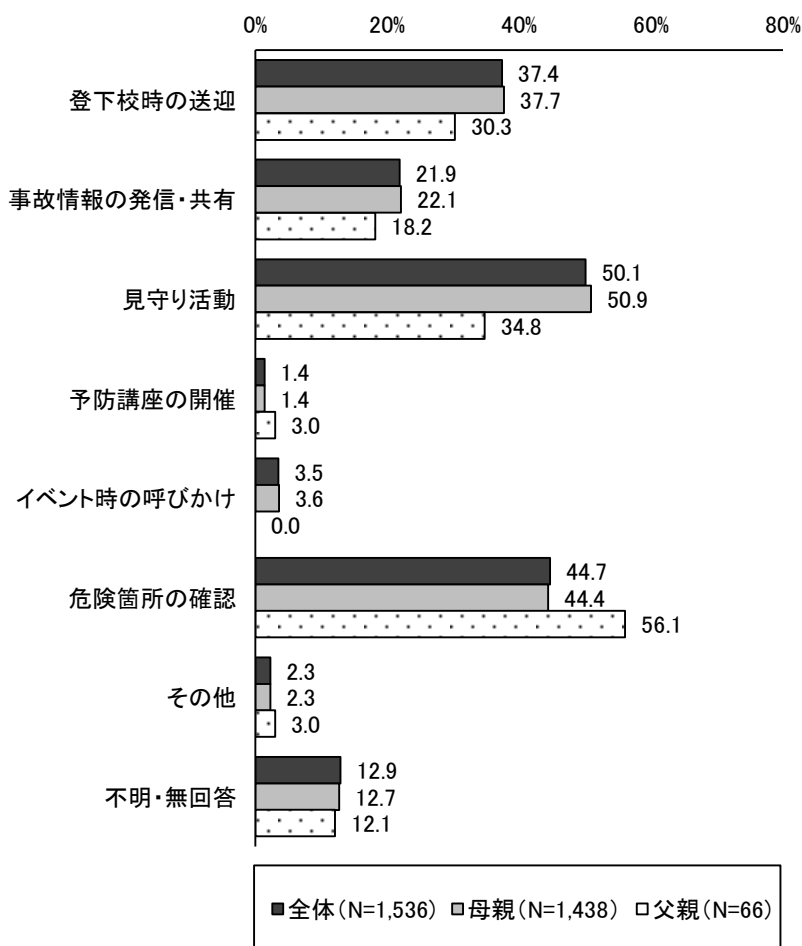
事故やヒヤリ・ハットを防止するために地域で取り組んでほしいことについて、幼稚園・小学校別でみると、全ての幼稚園・小学校において「見守り活動」あるいは「危険箇所の確認」が上位に入っています。

上段:度数 下段:%	合計	登下校時の 送迎	事故情報の 発信・共有	見守り活動	予防講座の 開催	イベント時 の呼びかけ	危険箇所の 確認	その他	不明・無回 答
合計	1536 100	466 30.3	701 45.6	959 62.4	165 10.7	186 12.1	937 61.0	73 4.8	155 10.1
のぞみ幼稚園	43 100	13 30.2	20 46.5	27 62.8	4 9.3	9 20.9	29 67.4	1 2.3	5 11.6
はるか幼稚園	38 100	10 26.3	14 36.8	16 42.1	4 10.5	4 10.5	22 57.9	-	8 21.1
さくら幼稚園	77 100	32 41.6	42 54.5	61 79.2	5 6.5	10 13.0	51 66.2	4 5.2	3 3.9
第一小学校	96 100	33 34.4	44 45.8	63 65.6	12 12.5	16 16.7	56 58.3	7 7.3	8 8.3
第二小学校	195 100	71 36.4	101 51.8	133 68.2	25 12.8	22 11.3	120 61.5	16 8.2	18 9.2
第三小学校	36 100	17 47.2	19 52.8	21 58.3	3 8.3	6 16.7	26 72.2	-	2 5.6
日新小学校	113 100	34 30.1	52 46.0	66 58.4	10 8.8	16 14.2	63 55.8	4 3.5	12 10.6
北中小学校	111 100	44 39.6	33 29.7	77 69.4	7 6.3	14 12.6	62 55.9	4 3.6	15 13.5
長坂小学校	84 100	30 35.7	35 41.7	52 61.9	8 9.5	3 3.6	53 63.1	6 7.1	6 7.1
日根野小学校	239 100	54 22.6	99 41.4	144 60.3	27 11.3	19 7.9	143 59.8	11 4.6	24 10.0
大木小学校	16 100	4 25.0	11 68.8	1 6.3	3 18.8	3 18.8	10 62.5	1 6.3	4 25.0
上之郷小学校	76 100	19 25.0	39 51.3	46 60.5	17 22.4	13 17.1	52 68.4	6 7.9	4 5.3
長南小学校	133 100	35 26.3	58 43.6	72 54.1	12 9.0	12 9.0	78 58.6	5 3.8	18 13.5
末広小学校	97 100	22 22.7	46 47.4	64 66.0	9 9.3	17 17.5	59 60.8	5 5.2	13 13.4
佐野台小学校	31 100	10 32.3	16 51.6	20 64.5	1 3.2	2 6.5	16 51.6	1 3.2	4 12.9
中央小学校	151 100	38 25.2	72 47.7	96 63.6	18 11.9	20 13.2	97 64.2	2 1.3	11 7.3

問 31 子どもの事故やヒヤリ・ハットを防ぐために、あなたができそうな取り組みは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

事故やヒヤリ・ハットを防止するために自身ができそうなことについてみると、「見守り活動」が50.1%と最も高く、次いで「危険箇所の確認」が44.7%、「登下校時の送迎」が37.4%となっています。

回答者別でみると、母親の場合は「見守り活動」、父親の場合は「危険箇所の確認」の割合が高くなっています。



事故やヒヤリ・ハットを防止するために自身ができそうなことについて、幼稚園・小学校別で見ると、全ての幼稚園・小学校において「見守り活動」あるいは「危険箇所の確認」が上位に入っています。

上段:度数 下段:%	合計	登下校時の 送迎	事故情報の 発信・共有	見守り活動	予防講座の 開催	イベント時 の呼びかけ	危険箇所の 確認	その他	不明・無回 答
合計	1536 100	575 37.4	336 21.9	770 50.1	22 1.4	53 3.5	686 44.7	35 2.3	198 12.9
のぞみ幼稚園	43 100	24 55.8	6 14.0	23 53.5	- -	4 9.3	14 32.6	- -	6 14.0
はるか幼稚園	38 100	17 44.7	9 23.7	22 57.9	- -	2 5.3	20 52.6	2 5.3	4 10.5
さくら幼稚園	77 100	39 50.6	21 27.3	48 62.3	- -	1 1.3	35 45.5	1 1.3	3 3.9
第一小学校	96 100	42 43.8	23 24.0	49 51.0	2 2.1	6 6.3	43 44.8	3 3.1	11 11.5
第二小学校	195 100	86 44.1	40 20.5	103 52.8	3 1.5	8 4.1	95 48.7	5 2.6	22 11.3
第三小学校	36 100	17 47.2	11 30.6	18 50.0	1 2.8	1 2.8	15 41.7	- -	3 8.3
日新小学校	113 100	44 38.9	22 19.5	66 58.4	1 0.9	5 4.4	48 42.5	2 1.8	13 11.5
北中小学校	111 100	42 37.8	13 11.7	46 41.4	- -	2 1.8	40 36.0	2 1.8	25 22.5
長坂小学校	84 100	39 46.4	15 17.9	35 41.7	1 1.2	2 2.4	35 41.7	- -	10 11.9
日根野小学校	239 100	64 26.8	60 25.1	118 49.4	8 3.3	5 2.1	111 46.4	8 3.3	30 12.6
大木小学校	16 100	7 43.8	3 18.8	2 12.5	- -	2 12.5	6 37.5	- -	3 18.8
上之郷小学校	76 100	22 28.9	24 31.6	40 52.6	2 2.6	3 3.9	43 56.6	1 1.3	7 9.2
長南小学校	133 100	41 30.8	24 18.0	62 46.6	1 0.8	4 3.0	52 39.1	3 2.3	26 19.5
末広小学校	97 100	29 29.9	26 26.8	33 34.0	- -	1 1.0	42 43.3	3 3.1	19 19.6
佐野台小学校	31 100	11 35.5	3 9.7	14 45.2	- -	1 3.2	10 32.3	1 3.2	4 12.9
中央小学校	151 100	51 33.8	36 23.8	91 60.3	3 2.0	6 4.0	77 51.0	4 2.6	12 7.9

問 32 今までにお子様が経験した事故やヒヤリ・ハットについて、具体的に教えてください。

【主な事故・ヒヤリハットの内容】

	内容
家庭内での事故・ヒヤリハット	扇風機のコードが首に巻きつき、窒息しそうになった
	加湿器の水蒸気でやけどを負った
	風呂の温度を高温に設定してしまい、子どもがやけどを負った
	誤ってタバコを口の中に入れていた
	おもちゃをくわえながら走って壁にぶつかり、のどにケガをした
	ウッドデッキに置いてあった洗濯カゴのなかに入れてしまい、そのままカゴごと下に落ちてしまった。
屋外での事故・ヒヤリハット	携帯を片手にイヤホンをしながら自転車に乗っていた人とぶつかりかけた
	自転車のベビーチェアに子どもをのせたままにしていたが、自転車が倒れてしまい子どもがケガをした
その他の事故・ヒヤリハット	知らないところで子どもがアレルギーのある食べ物を食べてしまった
	ラムネと勘違いして風邪薬を口に入れてなめていた
	大人の腕が子どもにあたり、子どもが頭を床に打ちつけて脳震盪をおこしてしまった
	おんぶ紐にのせるとき、頭からすべり落ちてしまった
	手に持った水筒のひもが足に引っかかり転倒した

Ⅲ 地域アンケート調査結果

3-1 地域で発生した事故について

①地域（校区に）住む子どもが実際に事故に巻き込まれた、あるいは事故になるおそれがあったケースについて教えてください。

内容
<ul style="list-style-type: none">・スクールゾーンで、一時停止線があるにも関わらず、車が停止せず直進することが多くある。実際に4年生の女兒が接触事故に巻き込まれた・春休み中、南海高架の下あたりで当時小学校2年生の児童が車との事故で亡くなった・バス停付近で、登校時（朝）に子どもと車の接触事故があった・午後4時頃、バス停から旧学童付近で自動車とバイクの接触事故があった（原因は小学校4年生くらいの子どもの飛び出し）・子どもたちがバス通りを登下校の際に通過しているが、道が狭いため、いつ事故が起こってもおかしくない現状である。特に「ガソリンスタンド」前の信号周辺が狭いため、心配である・5年生、お手伝いをしていてお湯をこぼした。自宅でカップラーメンに湯を入れようとしているとき、お湯をこぼして前腕部にやけど・帰宅後、遊びに行った帰りに自転車で転倒。膝に擦り傷・低学年の女子が、下校時道路で転倒し、足などにケガをした・低学年の男子が、体操袋のひもを振り回し、自分の首を絞めてしまうことがあった・子どもたちも、朝登校する時は急いでいるせいか、時々信号待ちをせず渡ってしまったときに、ヒヤッとすることがありました・小学校前の交差点は歩車分離式の信号であり、そこで高校へ自転車で通学する生徒との接触事故があった。自転車は歩行者信号が青のときに渡るため、接触しやすい状況になる

3-2 子どもの事故防止のための取り組みについて

②子どもの事故を防ぐために、地域（校区）で取り組んでいることや注意していることがありましたら教えてください。

内容
<ul style="list-style-type: none">・小学校との世代間交流を行うことで、地域の大人と小学生の子どもが顔見知りになり、登下校の見守りの役に立っている・校門前や交差点での見守り・民生委員による懇談や、学校協議会での情報交換・意見交換会・小学校児童の登校・下校時に校区内の3～4ヶ所で安全見守り活動をつづけ、現在も月曜から金曜日（授業があれば土曜日も）の毎日、平均 10 名以上の方々が対応している。・登下校時にあいさつする子ども、顔見知りになって話しをする子どもを多く増やして状況を知るように心掛けています・市内での一斉パトロール・子どもの登下校時には、出来るだけ車による外出を控えている・毎週火曜日の登校時、学校の校門で「あいさつ運動」をしている・自転車や自動車の運転中に登下校中の子どもに遭遇した場合は、細心の注意を払うようにしている・地域の方々の見守り・校区パトロールや、危険行為に対する地域住民の声かけ・地域の方々の見守り活動・登下校時の安全パトロール、10 年以上続けている方もいる・学校との連絡を密にして、生徒に問題があれば、学校や親ともよく話し合うことが大事であると思っています・朝昼と、福祉委員・民生委員が見守り活動として安全パトロールを実施している・公園での事故については、先生はもちろんのこと、地域での関心事として注意を怠らないように気をつけている・先生が、生徒に公園は末広小の子どもたちだけが遊べる公園ではないということなどを指導している・地域の方が交代で、朝は見守り活動をしているので、変わったことがあれば、すぐ学校に連絡してくれる・下校時は、低学年の保護者は途中まで迎えに行っている方が多い・時々、警察の方にもパトロールしてもらっている・民生委員で交差点に立ち、見守りをしている。小学校から各高校へ注意を伝えてもらう

子どもの事故防止にむけた消費者啓発事業
アンケート調査結果報告書

発行 泉佐野市 生活産業部 まちの活性課
〒598-0007 大阪府泉佐野市上町3丁目11番48号
電話 072-469-3131 FAX 072-463-1827

発行年月 平成29年(2017年)3月
